

# わが子のあゆみ

2018.11  
No.455

初冬号  
第70巻3号

11

## 【小中合同防災教育】

羽島中学校区では、平成29年度から、小中一貫教育のひとつとして、小中合同防災教育を行っています。

大きな地震が起きたとき、中学生が地域の大切な一員として力を発揮する存在となることを願っています。この写真は、登下校中の災害を想定し、臨時避難場所の確認等をするために、中学生が校区の小学生と一緒に下校する様子です。

はしま しりつ はしまちゅうがっ こう  
羽島市立羽島中学校



# 岐阜市立厚見小学校

【ぎふしりつあつみしょうがっこう】



●住所 〒500-8245 岐阜市上川手198番地5  
●TEL 058-271-0416  
●児童数 494名



## 沿革

本校は、明治5年創立の「日新舎」と明治9年創立の「将覚学校」がはじまりで、明治45年に両校が合併、昭和30年に現在の校名となりました。

校区は岐阜市南東部の領下・上川手・下川手一帯で、南北に細長く、新荒田川の東岸に位置します。校区内には戦国時代に川手城が築かれていました。また、北部の領下には旧中山道が通り、現在も古い町並みが残る趣のある地域です。

## 学校の教育目標 自分を生かし 人を生かして 共に生きる

～むちゅうで あったか たくましく～

### 学校のたからもの① 地域ぐるみで育てられる子どもたち

厚見地域には、昔から「厚見の子どもを地域ぐるみで育てよう」という気風があります。毎年九月に行われる「ハートフルフェスタ」も、子どもに関わる地域の諸団体が実行委員会を組織し、PTAが主体となって盛大に行われます。当日は、小学校の教室で子ども会など三十六団体が様々な遊びのブースを開き、親子九〇〇名以上の笑顔であふれます。また、「ふれあい餅つき・花餅づくり大会」は、青少年育成市民会議やおやじの会・老人クラブなど二二〇名ものボランティアスタッフで運営されています。他にも「厚見夏祭り」や「サタデーサークル」など、地域の皆さんの積極的な企画・運営で様々な取組が行われ、厚見の子どもたちが健やかに育っています。

### 学校のたからもの② 「あったか」な心で「あったかあいさつ」

本校では、相手の心をほっこり温かくする挨拶を「あったかあいさつ」と呼び、児童会やボランティアの子どもたちを中心に「あったかあいさつ」で声を掛け合ったり、厚見中学校と合同で「厚見あいさつ運動」を行っています。子どもたちには、いつでもどこでも・誰にでもあったかあいさつをしようとする気持ちと、思いやりの心が育っています。

### 学校のたからもの③ 「あったか」な心で「夢中な学び」

子どもたちの「じっくり聴き合う」「互いに学び合う」姿が、どの学年・どのクラスでも見ることができるようになってきました。相手が伝えようとしていることを一生懸命に聴こうとする心こそが、まさに本校の目指す「あったか」です。「聴く」ことが「学び」や「仲間づくり」の基本と捉え、子どもたちとともに、「聴く意味と価値」について考えてきたことが、「聴く」力の向上と、個の「夢中な学び」へとつながっています。

### 学校のたからもの④ 「あったか」な心で「ピカソうじ」

黙々とピカピカになるまで行う掃除を「もくピカソうじ」と呼び、みんなが「あったか」な心で、自分たちの生活環境を美しくする活動に取り組んでいます。はじめは一年生に手取り足取り丁寧に教えていた六年生も、

## 親子で楽しむ「ハートフルフェスタ」



## 毎月小中合同の「厚見あいさつ運動」



聴き合い・学び合い・夢中な学び



繪割り組で「すずかけワールド」



二人の「もくピカ」



すずかけの木

### 学校のシンボル「すずかけの木」

校庭の真ん中にはプラタナスの大き木が五本、堂々と立っています。校歌にも歌われているこのシンボルツリーは「すずかけの木」と呼ばれ、子どもたちにも地域にも親しまれています。その大木の名前をとって、学年の枠を越えて縦割り班で遊ぶ時間を「すずかけ遊び」、十一月に行われる児童会行事を「すずかけワールド」と呼んでいます。「すずかけ」という言葉は、厚見の「あったか」仲間づくりのシンボルとなっています。

最近ではそとと寄り添って一緒に「もくピカ」をしています。この二人の後ろ姿に、仲間とともに、快適な環境を創り出そうとする「あったか」な心を感じます。

# 関市立武儀西小学校

【せきしりつむぎにしょうがっこう】



- 住所 〒501-3521 関市下之保2719
- TEL 0575-49-2604
- 児童数 53名(男子27名・女子26名)



## 沿革

本校は明治6年に殿村の阿彌陀寺を仮校舎に、習文義校として創立しました。昭和46年の町制施行により武儀町立下之保小学校と改称し、平成15年には武儀町立武儀西小学校と改称、平成17年には関市との合併により関市立武儀西小学校と改称した、創立140年以上となる伝統ある学校です。

## 学校の教育目標

**確かな力とかがやく目 やる気 元気 根気**  
**めざす学校の姿 心と心がつながり、信頼される武儀西小学校**

### 学校のたからもの① 確かな学力〜ICTを活用した授業〜

本校では、各教室に電子黒板とデジタル教科書、タブレットPCが整備されており、これらを使用した授業が定着しています。教職員はこれらの機器を使いこなし、子どもたちは意欲的に授業に向かい、効率よく学習することができており、学力向上には欠かせないツールとなっています。

プログラミング教育にも取り組み始めています。プログラミングソフトを使って漢字の成り立ちについて表現したり、キャラクターを動かしたりする学習をしています。

### 学校のたからもの② 地域の人々の教育力を生かした『ふるさと教育』

自然・文化・人的環境に恵まれた本校では、地域の人々の教育力を生かした『ふるさと教育』を展開しています。

一、二年生は地域講師を招いて凧づくりをしました。下絵を描いて色を塗って制作した凧をつないで、連凧上げに挑戦しました。青空に舞い上がる連凧に歓声があがりました。大豆を栽培した三年生は、地域講師を招いて、地域に伝わるみそづくりに挑戦しました。蒸した大豆をよくつぶし、丸めて真ん中に穴をあけてひもを通してつるし、よく乾かして麴と醤油につけてこんで作りました。完成まで一年かかりますが、どんなみそ玉が出来上がるか楽しみです。

### 学校のたからもの③ 『なかよし・あいさつ・歌声・掃除』の伝統づくり

児童会が中心となり「なかよし・あいさつ・歌声・掃除」の伝統づくりに全校で取り組んでいます。委員会によるキャンペーンの取り組みを通して、「進んであいさつ」「もくもく掃除」などが根付きつつあります。また、互いのよさを見つける「かがやきカード」の取り組みを通して、温かい関わりができるようになってきました。

四年、五年生は、「地域で子どもを育てる会」の皆さんから、米作りについて学んでいます。子どもたちは、自分の手で田植えや稲刈りを行ったり、田植え機やコンバインを実際に運転させていただいたりして、米作りに携わる人々の苦勞や喜びを体感しています。お米の収穫が終わると、「ふれあい広場(収穫祭)」を行っています。もちつきをしてあんなもちやきな粉もちを作り、地域の方を招いて会食会を行います。もち米の販売やもち投げも行っています。

### 学校のたからもの④ ボランティアの精神を育てる『おもいやりNOTE』

津保川地区の三つの小学校と一つの中学校では「おもいやりNOTE」の取り組みをしています。ボランティア活動や地域行事への参加などの実績をノートに記録していきます。子どもは、記録したノートに地域の方やお家の人等の大人のサインをしてもらったり、先生からシールを付けてもらったりします。さらに「おもいやりNOTE」を一冊終わった子どもは、「ボランティアマスター」の缶バッジをもらえます。

大人から認められることを通して、学校や地域の一員としての自覚をもつとともに、ボランティアの精神を学ぶことができています。



電子黒板を活用した授業



青空に舞い上がる「千つくり連凧」



「ふれあい広場(収穫祭)」でのもちつき



地域に伝わるみそづくり



豊作祈願の「かかしづくり」



ひざをついて「シンテラふさ」



6年生が「円空仏彫り」に挑戦!教職員たちも彫ってみました



おもいやりNOTEと缶バッジ

# 中津川市立高山小学校

【なかつがわしりつたかやましようがっこう】



●住所 〒508-0204 中津川市高山1037  
●TEL 0573-72-5010  
●児童生徒数 76名



「岩山」高山の代表の山です。



「恵那山」高山小学校から大パノラマで見渡せる中津川の代表の山です。

## 沿革

高山小学校は北西の方向に地元の岩山を背負い、そのすぐ向こうにはニッ森山が迫って位置しています。南東の方向には恵那山が大パノラマとなって横たわり、壮大な風景が目飛び込んできます。また、眼下には清流青川の異名をもつ付知川が流れています。風光明媚な山や川に囲まれた自然豊かな場所にあります。

「緑に映えるニッ森 朝に仰ぐ恵那の山  
素直な心弾ませて 元気に遊ぶ子どもたち  
ああ美しい高山小学校」

と校歌に歌われていますように、自然の豊かさの中で、子どもたちは素直にすくすく育てられています。

## 学校の教育目標

### 進んでやる子

たくましくて元気な子  
か ながえて共に力を出し合う子  
や る気満々がんばる子  
ま ちがい正す素直な子

毎日の全校朝活動の中に「高山体操」があります。この高山体操は、子どもたちの親の代から何十年にもわたって取り組まれてきたものです。音楽に合わせて筋力と体のバランス感覚を鍛える体操です。「カエル倒立!」「タワー!」など簡単にはできない技を身に付けていきます。この高山体操を六年間行う高山小学校の子どもたちは、自然に運動神経を向上させています。九月の運動会では、全校児童の高山体操演技があります。子どもたちは毎年自信をもって高山体操を披露しています。

**学校のたからもの②**  
**縦割り活動**

全校児童七十六名の子どもたちは、縦割りを取り組むことが多くあります。たとえば、毎日の掃除の時間は縦割りでを行っています。

## 学校のたからもの①

### 高山体操

## 学校のたからもの④

### 学校菜園サツマイモ植え

毎年学校菜園でサツマイモを育てています。全校児童が一斉にサツマイモ苗の植え付け作業をしました。その後の水やりの世話などは五、六年生がやっています。昨年学校菜園にイノシシが現れました。そこで今年はいち区長さんやPTA役員の皆さんにご尽力いただき、獣侵入防止ネットを張っていただきました。

## 学校のたからもの③

### 集団登校と見守り隊

毎朝の登校は、地区ごとに集合し、二列縦隊で登校します。五、六年生がリーダーとなり、安全に気を付けて登校します。高山小学校区では、多くの小学校と同様、見守り隊の皆様に登下校を見守っていただいています。全校児童七十六名に対して実に見守り隊員は二、四名です。一カ月の当番を決め、毎日見守っていただいています。多くの地域の方々にお世話になって安全・安心な登下校ができています。

低学年と高学年がペアとなって校舎の各場所を掃除します。上級生が下級生に丁寧に教えながら掃除をするので、一年生でも上手にほうきを使うことができます。掃除の時間には、全校黙働清掃ができています。「高学年が低学年の面倒をみる。低学年は高学年を見習って学校生活のすべてを身に付ける。」というよき伝統が根付いています。

## 縦割り活動



## 集団登校



## 高山体操



学校菜園でのサツマイモ苗植え

## 高山音頭



地域の方から「高山音頭」を教えていただいている場面で、毎年地域の方から手ほどきを受け、運動会では全校高山音頭を披露します。

## うたごえ集会



体を大きく揺らし、大きな口でのびのびと全校合唱をする児童たちです。

## 雨の日のマナー



全校児童は玄関先で必ず傘の水分をはらいます。ホルダーをきちんととめ、傘立てに整然と並べます。高山小学校の児童のいわゆる行儀のよい素晴らしい姿の象徴となる場面です。



多くの学校では、教員や保護者などの読み聞かせ活動が行われていますが、このように子どもが読み聞かせをするのはおもしろいものです。読む側も聞く側も、素晴らしい集中力です。

## 子どもから子どもへ読み聞かせ

# 瑞穂市立巢南中学校

【みずほしりつすなみちゅうがっこう】



- 住所 〒501-0322 瑞穂市古橋10番地1
- TEL 058-328-2002
- 生徒数 506名



## 沿革

濃尾平野の西北部、揖斐川の近くに位置しており、田園や柿畑が広がる自然豊かな場所です。また、学校の横には旧中山道が通り、校区内の美江寺宿には古い町並みも残っているなど、歴史ある地域です。



## 学校の教育目標

# 自らを律し 自ら学び 自ら動く生徒

## 地域で育つ巢南中学校生 学校のたからもの①

### 地域の行事に進んで参加

巢南中学校の特徴は、地域との関わりがとても深いということです。中学生が、市や校区で行われる様々な地域の行事に積極的に参加しています。毎年五月と十月には、学校近くの川の清掃活動があります。多くの生徒がボランティアとして参加し、草刈りを手伝っています。

また、八月には、市商工会主催の夏祭り（みずほ汽車まつり）が行われます。その祭りにダンス部の生徒たちが、アトラクションとして参加しています。大勢の観客の前でダンスを披露し、祭りを盛り上げています。

## 学校のたからもの②

### 夏休みには、地域を支える一人として

夏休みに、校区内の各地域で、自治会が主催する夏のフェスタが行われます。フェスタには、中学生も参加し、地域の大人と共に企画や運営に携わっています。今年もかき氷や水風船釣り、輪投げゲームなどを、中学生が中心となって運営しました。大変暑い中でしたが、地域の一員として精一杯活動を行いました。

また、夏休みのクリーン活動が各地域で行われ、中学生も参加しています。様々な世代の方に交ざって、自分たちの分担場所を掃除

しました。夏のフェスタで使用する公民館や、地域の公園などを掃除しました。夏休みも、地域を支える一人として、役割をもって活動しています。

## 学校のたからもの③

### 地域の小中学生のリーダーとして

夏休みに、ラジオ体操が各地区で行われ、どの地区でも中学生が中心となって進めています。毎日、中学生が前に立って体操を行い、手本を示しています。自信をもって体操を行えるようになるために、学校では夏休み前に、ラジオ体操連盟の方を講師として、ラジオ体操講習会を行いました。

また、各学期に一回ずつ、中学生が校区内の小学校に行き、あいさつ運動を行っています。校区内には三つの小学校がありますが、各小学校の校門に立ち、登校する小学生に声をかけたり、ハイタッチで迎えたりしています。瑞穂市では「あいさつの街みずほ」を進めています。中学生もその充実をめざして活動しています。

中学生が学校だけでなく、地域の活力となり、積極的に活動することができています。

これは、中学生の頑張りはもちろん、地域の方のご理解とご協力があるからこそのもので、中学生が自然に地域の一員として活躍できる、そのような取組が続くことを願っています。



みずほ汽車まつり



河川清掃



クリーン活動



夏フェスタ



ラジオ体操講習会



小中合同あいさつ運動



ラジオ体操の様子

# リレーエッセイ<sup>3</sup>

岐阜県PTA連合会副会長  
可児市立広見小学校PTA 長井 知子



## 世の為人の為に

「世の為人の為に働くんだぞ。」これは、今夏亡くなった父の病床での言葉です。

私の父は、「困っている人がいれば助け、頼りにされればなんとしても応え、いつも人の為に動いている」そんな優しさあふれる人でした。だからでしょうか、父はとても友人が多く、父の経営していた会社には、いつも多くの人を訪れていました。ですが、亡くなった今思い起こしてみると、私が冒頭にある父の言葉を聞いたのは、この病床時が初めてだった事に気が付きました。

私はご縁により、副会長を1年、会長を2年させていただき、今年で役員生活3年目を迎えました。なぜ、私が役員を続けているのか。それには理由が2つあります。1つ目はやはり、子どもが通う可児市立広見小学校が少しでもよくなるという思いがあるからです。現在小学六年生の娘がある日、「将来、お母さんみたいにPTA会長になって、人の役に立つ仕事がしたい。」と私に言いました。涙が出そうになりました。そしてこの言葉は、PTA役員を続けてきた私の最高のご褒美となりました。また同時に、「子どもは親を見ている。」と実感した瞬間でもあります。親が何も言わなくとも、子どもは親を見て何かしら感じとっていき。父自らが示してきた姿勢から私が多くの事を感じとったように……。

「子どもは親の背を見て育つ。」昔からいわれる言葉ですが、それを亡き父と私の3年のPTA役員生活を通して、身を持って感じています。父の遺した言葉、「世の為人の為に働くんだぞ」を胸に、残りの役員生活を精一杯務めあげると共に、亡き父の姿勢をわが子に引き継いでいきたいと思います。

次回は… 加藤 拓真さん



## わが家の宝物

羽島郡笠松町立下羽栗小学校PTA会長  
田島 一樹

### やっぱり我が家が一番

海なし県の岐阜で育った私ですが、昔から海に憧れがあり、毎年家族で海水浴に出かけます。ここ最近は、石川県の増穂ヶ浦まで遠征。それ以前は温泉が好きで、北は新潟、南は熊本まで行き、旅館でおいしい料理に舌鼓を打ち、ゆっくり温泉に浸かって…。

しかしながら、いつも帰ってくると『やっぱり、我が家が一番落ち着くね』の一言。そこで過ごす日常が安心感を与えてくれるからだと思えます。

『我が家』の目の前には小学校があり、登下校の際や校庭で遊ぶ児童の声、伝統でもある鼓笛の練習、校舎のチャイム。常に小学校の『声』を聴きながら生活しています。町の様子も新しい建物が増え、時代と共に少しずつ変化していますが、自分が卒業した時とほとんど変わらない校舎に我が子も通っています。彼女たちも私と同じようにこの小学校・地域を好きになってくれればと思います。そこに安心して帰ってこられる『我が家』があり続ければと思います。

## わが子のあゆみ

2018.11 No.455 初冬号



- 1 学校のたからもの  
岐阜市立厚見小学校  
関市立武儀西小学校  
中津川市立高山小学校  
瑞穂市立栗南中学校
- 9 わが家の宝物 田島 一樹
- 10 リレーエッセイ③ 長井知子
- 11 特集 創立七十周年記念第三十九回定期大会  
記念講演  
「グローバル化時代の子どもと教育  
〜これからのPTA〜」後編  
尾木直樹(尾木ママ)さん
- 17 PTAのABC PTA役員選び方②  
関市立洞戸小学校PTA
- 19 家庭教育応援団!③③  
岐阜県環境生活部環境生活政策課
- 21 「多様性尊重の教育⑧」  
みんな、いっしょに 安田和夫
- 23 保健室ノート 稲垣 章子
- 25 私の先生③③ 西元 咲
- 27 子育て半生記 伊藤 康博
- 29 楽しい読み聞かせ!②  
池田町立池田小学校PTA
- 31 私が出会った1冊の本「続38」  
早川光嘉・松原 寛
- 33 話そう!語ろう!わが家の約束  
鈴木邦幸・大野 隆行
- 35 子の思い 後藤 菜穂・松井 楓真・宮崎 良菜  
親の願い 村瀬 美歩・岩本 千津子  
教育の窓 上水 流弘美・村木 崇  
保護者から先生へ贈る感謝の四〇〇字メッセージ  
先生!ありがとう!③
- 41 親子ではてな
- 42 お試しクッキング 岐阜県学校栄養士会
- 43 ふるさとの伝承  
恵那市立中野方小学校
- 45 きらり!キッズ!  
高山市立南小学校
- 47 夢中!熱中!我らが部活  
土岐市立西陵中学校
- 49 私たちのPTA  
美濃市立美濃中学校PTA

### 機関誌「わが子のあゆみ」

平成30年度 初冬号  
第70巻3号 通巻455号

発行/平成30年11月1日 岐阜県PTA連合会  
〒500-8824 岐阜市北八ツ寺町7  
岐阜県校長会館内  
電話/050(509)0257  
FAX/050(509)0250  
Eメール/info@pta.com  
ホームページ/http://www.g-pta.com  
編集/岐阜県PTA連合会広報委員会  
「わが子のあゆみ」編集部  
印刷/サンメッセ株式会社

創立七十周年記念  
岐阜県PTA連合会第三十九回定期大会

# 記念講演 「グローバル化時代の子どもと教育」後編

講師 法政大学特任教授  
臨床教育研究所「虹」所長

尾木直樹（尾木ママ）さん



## 生き延びる力

今やすっかり近代産業が発達した日本も、この先皆さんのお子さんたちが大人になった、少なくとも二〇五一年には、まるっきり世の中が変わっているんですよ。その中を、どう生きていけばいいのかをOECDは「生き延びる力」が必要だと言っているんです。文科省はこれまで「生きる力」と言ってきたのですが、「生きる」ではなく「生き延びる」力なんです。この先、滅びる国があるかもしれない、そこをどう生き延びていくのか。AIが進歩し、多くの仕事を代替するようになるの

であれば、我々はその空いた時間をどう有効に使うか。新しい価値の創造ですね。

こんなふうにして、生き延びる力を学力と定義し、先にお話しした三つの力をその学力の構成要素としています。ここに向かって、これからOECD加盟国三十五ヶ国が中心に動いていくし、わが国の二〇二〇年の教育改革もその一過程にあると思っています。いいと思います。つまり、AIが登場してきたということ、そして地球温暖化がここまで進んできたという問題とか、あるいは集中豪雨や水害、地震、火山の噴火などいろんな不

安定要素を含む天変地異がある中で、どのように生き延びていくかが問われている。このような時代性から、子どもたちをどう育てていかなければいけないかを問うている。

知識中心の暗記型の力や、決まった時間の中で正解をどれだけアウトプットできるかの力ではないということ。AIが代替してくれる時代においては、人間はもっと違う力を付けていこうというふうに変わってきたんです。

## 変わる入試

そのためセンター試験も変わっていきます。去年の十一月に文科省がプレテストとして、二〇二一年から開始される大学入学共通テストのサンプルテストを実施しました。このテストには延べ約十八万人が参加したのですが、正答率はセンター試験に比べて低い科目ばかりだったんです。正答率の低さが目立ったのは、記述式の問題が出題された国語と数学でした。数学の問題を見て、予備校の先生や高校の先生方が「これが数学か？ 社会科の問題じゃないか？」という位、問題が様変わりしています。

大学入学共通テストに備えて、既にお話し

しましたが、東京の私立中学校では対策を始めています。今の高校一年生が大学を受験する時には新しいテストを受けるわけですからね。全く入試問題が変わってきたら、予備校や塾で今までやっていた授業の内容や習得したことがほとんど役に立たなくなるんですよ。だから、今多くの私立中学校が、小学校六年生を入学させる段階で、今までみたいに暗記に強い子とか、集中して早く多くの問題を解いていける子ではない子を入学させるために、入試問題をガラッと変えてきているんです。実はもう二年前から変わり始めています。

## こんな入試例題

どんなふうに変わってきたかという例、例えば、鹿児島県の私立の進学校、ラサール中学校で出た社会科の入試問題です。ある交差点の白黒写真なんですけど、写真が二枚あって、Aの写真は一九七〇年代初頭の写真で、Bの写真は同じ交差点ではないですが、同じような交差点で最近の写真だという説明があります。この写真を見比べて、これは何県で撮った写真か県名を答えなさい、というものなんです。さあ皆さん、イメージしてください。

人や車が行き交う交差点です。一九七〇年代初頭のAの写真、Bの写真は直近のもの。

正解は、沖縄県なんです。皆さん、沖縄は占領されていたってご存知ですよね。大変な犠牲がありましたが一九七二年に本土に返還されました。終戦直後から一九七二年までアメリカ軍に占領されていたため、アメリカの交通ルール、つまり右側走行なんです。しかし返還されてからは日本の交通ルール、左側走行になっている。写真を見ると、このような違いが見てとれます。

そうすると、アメリカに占領されていた歴史を知ってはいけないうし、一九七〇年代初頭まではアメリカの領土だった、占領下にあったということ、アメリカは右側走行だということも知っていないとこの問題は解けません。それらの知識を総動員して「これは沖縄県だ」と初めて答えを出すことができます。

## 変わる面接試験

それから、面接試験の方法も変わってきて、企業で実施する集団面接みたいなのを沢山取り入れるようになってきました。ある中学校





では、三十才くらいの男の人がスーパードの前を通り過ぎてコンビニに買い物に入っていく映像が映り、試験官が「彼はどうしてスーパードを使わないでコンビニに入ったんですか？」と聞くのです。皆さん、どう答えます？ 答えは一つとは限りません。三十人の受験生がいたら、三十通りあってもおかしくないんですよ。つまりそこで、学校は何を見たいかと言うと、その子は勉強ばかりやって、何でもお母さん任せで、家事やお使いなんかの体験もなく、社会を見ていないのではないかと。こういう子は、二〇二一年からの大学入試には通用しないと分かっているから、そういう受験生ではない子が欲しいんですよ。

変わった例として、レゴ入試というものもあります。ある中学校では、「あなたの夢をレゴで表現しなさい」という問題が出題され、二十分くらいの時間の中で、実際にレゴで作品を作るんです。時間が来たら、次は試験用

うに担うかなど、人材育成がしっかりしている。地方の国立大学や中央の私立大学がともも良くなってきています。僕も応援しているんです。

**学歴社会から学習社会、大学の役割**

日本は、十八歳の高校生の約五十二%も大学へ進学しています。一方で大学の数が多いため、大学が少子化で潰れるとか言われていますよね。つまり、十八歳人口が減ることイコール、大学の経営危機だという考え方が日本固有の考え方です。

日本の大学一年生の平均年齢は十八歳なので、二十歳で入学したら二浪したの？ という感じですよ。でも、例えばノルウェーでは



紙にデッサンしなさい、と。その後六十分間は「これは何を表現したかったのか」を文章四〇〇字にまとめなさい。という問題が続きます。その後、五〜六人のグループに分かれて、ディスカッションして自分達の夢とは何かを討論しましょう。討論が終わったら、その結果のまとめを四〇〇字で書きなさい、と言うんです。これで試験は終わりです。まるでハーバード大の試験みたいな感じですよ。そこにある独自性や学力観、色々な要素をしっかりと見るわけです。必ずしも高いIQが求められているわけではないんです。

**IQからHQP**

IQ（知能指数）という言葉をお聞きになったことありますよね。今、脳科学者や心理学者や教育関係者は、知性の指標はIQではなくHQPと言っているんです。HはHumanity、直訳すると人間性指数ですね。これを高めていくことが、本当の意味での学力を伸ばしていくと現場の実践でも分かっています。脳科学者の皆さんも言っています。これを身に付けるためには、小学校三年生までは野山で駆けまわったり、自然遊びをたくさんしておくほうがいい。

大学一年生の平均年齢は三十歳位です。日本だけです。十八歳なんて。高校を三月に卒業して四月からみんな一斉に進学するなんていうのは、国際社会から見たらあり得ないんですよ。だから偏差値で選んで、受かる大学へ入るより仕方がなくなってしまうのです。

大学というのは本来、まさに今地方の大学が模索し始めているような、生涯学習の一環であり、地方づくりの一環なんです。だから六十歳の定年退職を早めて、岐阜大学へ入り、地域に根付く何らかの専門の勉強をして地元を生かそうとか、あるいは教育学部英語学科かなんかに入り、英語をブラッシュアップして、小学校の英語教育で先生方のサポーターとして教育に携わっていくとか、いつまでも学びながら、自分の役割を実感しながら、いい生涯を送っていける。これが、学歴社会から学習社会への移行なんです。

**高校でしっかり勉強**

そのためには、高校時代にしっかりと学力をつけておかないとダメ。フィンランドをはじめとする多くの欧米諸国の学校では、入学は簡単にさせてもらえるものの、履修証明を

絵本の読み聞かせなんかも良いというのは、常識になっています。自然豊かな岐阜では頭のいい子しか育たないですね！

**読解力が衰退**

話がそれましたが、このように入試がすっかり変わってきている中で、国立情報学研究所から、読解力の急激な低下を示す、衝撃的な数字が発表されました。例えば、このような問題です。アメリカのメジャーリーグのうち、二十八%が外国人でアメリカ国籍ではなく、そのうち、最も多いのがドミニカ出身者で三十五%を占めていると。これを円グラフで図式化すると、A B C Dのどれが正しいか、といった問題です。正しい答えが書けた子が、中学生ではなんと僅か十二%でした。何とも心もとない話なんですけど、高校生はというと正答率二十八%。これが、僕らには大変な衝撃だったの。ところで、今年の四月に東大に入った新入生にもこの問題を出題しました。こんな問題を東大生に出すなんて失礼じゃないかと思うのですが、なんと正答率は五十二%だったんです。一方で、地方の大学では、地域に密着して地方創生をどのよ

得て卒業するために多大な努力を要します。卒業に必要な学力・能力が備わったと認められなければ、卒業させてもらえません。ここまでできなければ最終学年の学力とは認めないというふうになっていますから、先生が必死なんです。生徒をみんなそこまで引き上げて、卒業させていかなきゃいけないので、生徒も必死になって勉強します。高校の卒業証書が大学の入学証書と同じくらいの価値になっているので、大学入試はやらなくて済むわけです。

大学は生涯の学習歴の一つの場所に過ぎないんですよ。今みたいに学歴社会で構築されている日本では、一点刻みでちよつとでも偏差値の高い大学とか、全然向いていないのに医学部だとか、そういう考え方を切りかえていかなきゃいけない。

このように考え方が変わってくると、国家の利益にもなってくるし、大学の授業料の無償にも繋がります。文科省の委託調査を基にした試算によると、大学生・大学院生への公的教育投資は投資額の約二・五倍の社会的効果をもたらすということが示されたんですよ。

教育への投資・無償化というのは、世界の常識なんです。やっと、政府がそれを言い始めてきていますが、AI時代の到来を含めて

社会の在り方を変えていく、構造的な転換も同時に進めていくためには、やはり誰かがリードしていかなきやいけないと思います。

「探求型」の授業

大学入試が変わるといってお話しをしました。が、高校入試も変わってきますよ。例えば日本史や世界史が、「日本史探求」「世界史探求」になるんです。先生が一方的に教科書の内容を教室で解説するだけの授業ではなく、生徒同士で話し合ったり、討論や発表を通じて学ぶというスタイルになるんです。例えば織田信長に興味があれば、教科書には載っていない裏歴史がないか調べてみよう、他の子は同じ時代の戦国武将を調べているので、もしかしたら繋がっていく話があるかもしれない、とか。

すでに探求型の授業をやっている学校は、大きな成果を上げているんですよ。現在での成果なので、いわゆる東大とか京大とかに沢山受かるという意味です。受験に合格するための勉強ではないのに受かっているんです。

京都市立堀川高校では、顕著な成果が出ています。一学年約三〇〇人の学校で僕も二回

ら、どうしたらいいか。「生き延びる」——OECDはいい表現をしたと思いますよ。楽しく、一人ではなくみんなと共有しながら、和気あいあいと生き延びていくことが求められているんです。社会も、これからの未来を創るパートナーとして子どもを迎えていくようになります。家庭でも、対等なリスベクト（敬意を表す、尊敬の気持ちを表す）し合う関係で向き合うということが、すごく重要になると思います。

子どもを褒めること、頭ごなしに叱らなうこと

だからお母さん方へのお願いは、子どもを褒めることです。たくさん褒めてあげてください。褒めると、人間の脳は安心して、海馬の容積が広がります。海馬が広がるということは、記憶力や空間学習能力が上がるといふこと。逆に叱るとどうなるか分かりますか？脳が萎縮するんです。夫婦喧嘩なんかも、「心理的虐待」というれつきとした虐待なんです。両親が罵り合っているのを聞かされると、叱られた時と同じように脳が小さくなってしまいます。だから学校の先生の中でも、たまに怖い先生が居ますよね。子ども達は授業中しーんとお利口

ほど訪問しましたが、ここはある年までは国立立大学へ入る子が、わずか六人しかいなかったんです。しかし、探求型の授業を開始してから変わりました。探求型の授業では、例えば琵琶湖の水はなぜ汚れてきたのかもいいし、それを浄化するにはどうすればいいのかとか、家庭生活の中でお母さんの手荒れを防ぐとかでも、何でもいい、好きなテーマを三年にわたって探求していきます。週に二コマ連続で、人数は二十人居るか居ないかわらないでの授業。そこに先生が二人くらい付いて、京大の大学院生が二人サポートで入ってくれます。ものすごく濃密で、分からない事はデイスカッションします。ですから、高二で教員を全部マスターしている子も居ましたね。それは、勉強しなくてはならないと思っただけでなくて、自分の課題を研究するのは数Ⅲの知識が必要だとわかり、自主的に勉強しちゃうんです。その時に、京大の院生なんかが教えたりするわけ。これを学びたい、これを探求したいと思ったら、高校生も大学生もグングン伸びていくんですよ。学問の面だけではなく人格も伸びていきます。

このように高校一年生から探求型授業を続けて、三年生になり国立立大学に何人入ったかと言うと、いきなり一〇六人入っちゃったに座っていても、実は頭は働いてないんです。怖いからじっとしているだけなんです。

だから、家庭でも褒めてください。うちの子には褒めるところが無い、というお母さんもたまにいらつしゃいますが、そしたら、認めてあげてください。出来ることを認める、と思ったら気楽ですよ。そして叱る時に、頭ごなしに叱らないということを守って下さい。叱る前に必ず理由を聞いてみる。「どうしたの？」と。これでいいんです。「ああ、お母さんが理由を聞いてくれた」と思っ、弁解をしますから。弁解の中には、苦しみだとか成長しようとする思いがたくさんあります。それを探っていくのが親の役割だと思うんです。

共感、共感、共感

大概、悪いことをしたり、怒られるようなことをした時には、「ああ怒られる」と思っ、子どもも辛いんですよ。こういう時に、「辛かったね」と相槌を打って共感してあげてください。そうすると人間は、心に元気がみなぎります。これをエンパワーメント（個人が持っている潜在的な能力を引き出すこと、湧き出させること）と言います。エンパワー

んですよ。そして今や、毎年京都大学には五十人位受かるようになりました。結果、京都府下で、トップクラスの受験校になったんですね。受験生が京大を狙ってくる子ばかりになったため、そういう子は受験を止めてくださいと、高校の入試説明会で校長先生がおっしゃっているくらいです。

親子は、新たな時代を生き延びるパートナー

本日の僕の話の中で、日本の教育がグローバル化の中で変わっていくらしいということには分かったけど、さてわが家ではどうするのか、悩みますよね。僕が一番言いたいことは、この変化の激しい社会の中で、親子関係を上から目線ではなく、共に生きていくパートナーとして見る事なんです。人生一〇〇年時代と言われている今、子ども達も私たち大人も先行き不透明な、答えが出せない公式もない社会に生きていく訳です。これが昔だったら、受験を突破して頑張れば、エリート大学へ行って、大きな会社勤めて、それなりに幸せな生活が出来るといった、何かそういう安定した将来へのイメージみたいなのがありましたよね。今やそんなものは無いですよ。そして

メントされた子どもは勝手にどんどん伸びてくれます。親子の絆も強まり、親は子どもが伸びて行く後ろ姿を見て喜んでいけばいいんです。これは夫婦関係でもそうですし、会社やPTAなどの組織・集団全てに通用すると思っ、このように、お互いリスベクトし合える地域とか団体とか家庭を、たくさん作り、これからの時代を楽しみながら「生き延びて」くださいね。

終り



# PTAのABC

連載②

## PTA役員の選び方②

\*各PTAにお訊ねした内容は次の通りです。

### 一、本部役員の選び方

①選考（指名）委員会は何名で組織され、その委員はどのような

より依頼し承諾を得ます。じっくりと時間をかけて相談や声掛けを行いながら、慎重に本部役員候補へのアプローチを進めます。最終的には、会長からの依頼を受けて承諾をした上での立候補となります。その後、二月の役員選考会、三月の評議会で承認され、四月の総会で決定されます。

⑥三月に、新旧役員会（引き継ぎ会）を行います。しかし、ほぼ会長からの依頼の段階で、各職の内容については詳しく説明されて承諾されています。

⑦前述のように、依頼した上で立候補していただきます。

⑧任期は原則として一年です。規約に「任期は一年とする。但し再任を妨げない。」役員の兼任は妨げない。とあり、少ない会員の中で、複数年の選出等にも対応できる工夫があります。

⑨免責事項は規約にはありません。しかし、小規模で会員数も少ない中ですので、会長が相談する中で多様な面からの配慮をしながら慎重に依頼を進めていくことができます。

⑩事前に会長から依頼の上なので、

選びますか？

②選考（指名）委員を選ぶ時期は何月頃ですか？

③選ぶ役職は？会長・副会長・書記・会計・その他（委員長など）人数と役職をお書きください。

④候補者の選考と基準（学年、地域、任期、役員歴など）

⑤候補者へのアプローチと決定までの手順。

⑥候補者に各職の内容（会議の日程や回数、市町の行政に関わる充て職の説明、市郡のPTA行事や会議の頻度など）の説明がありますか？

⑦立候補者が出た時の対応は？

⑧任期はありますか？単年度制でありながら、複数年の希望が出た時の対応は？

⑨免責（家族に介護の必要な人がいる、など）事項はありますか？

⑩就任の了解が得られない時は、どのように対処しますか？

### 二、学級委員の選び方

①選び方は？（投票・ローテーション・くじ・じゃんけん・他）

②対象となる委員会は？（貴PTA

就任の了承が得られないことはありません。

### 二、学級委員の選び方

①学級委員の選び方は、学級毎の会員による選挙で男女各一名を選出します。その学級委員が、事業委員と成人教育委員と家庭教育委員の何れかの委員を兼ねます。これも、小規模校として効率の良い方法だと考えます。

②各学級の対象が学級委員会（事業委員会、成人教育委員会、家庭教育委員会に所属する）で、各地区の対象が地区委員会（役員選考委員会を兼ねる）です。

③委員会の内容や会議等への出席回数などの事前の説明は、会員全体にはありません。しかし、会員数の少ない中ですので、複数回の選考や日頃からの情報交換の中で会員全体が十分理解しているのが現状です。

④委員は希望すれば複数年行うことが出来ませんが、希望はありません。現状として順次委員を引き受けていかざるを得ないことを会員が理解しています。

の委員会名をお書きください）

③会員に、委員会の内容や会議等への出席回数など、事前に説明はありますか？

④委員は希望すれば複数年（回）行う事が出来ますか？

⑤免除事項（家族に介護の必要な人がいる、など）はありますか？

⑥就任の了解が得られない時は、どのように対処しますか？

### 三、その他

貴PTAの役員選考での課題は何ですか？具体的にお書きください。また、目指すPTAの姿（理想も含めて）をお書きください。

### 「PTA役員の選び方」④

#### 関市立洞戸小学校PTA

### 一、本部役員の選び方

①役員選考委員会は、六名で組織されています。六つの各地区から選ばれた代表者である地区委員が兼任します。その地区委員の互選により決定し、会長が委嘱した地区委員長が役員選考委員長となります。

⑤小規模で会員数の少ない会員の中での選出ですので、本部役員と同様に免責事項は規約にはありません。しかし、多様な面からの配慮をしながら、慎重に選出をします。

⑥上記のような方法手順での選出となりますので、原則として了承を得られないことはありませんが、あれば役員選考委員会で協議します。

### 三、PTAの役員選考での課題

我が校のPTAの役員選考での課題は、会員数が少ないため、複数回の選考となってしまうことです。本部役員の選出に限らず各委員の選出に関しては、会長を中心としてじっくりと時間をかけて相談や声掛けを行いながら、慎重に選出を進めます。

具体的には夏を過ぎた時期より地域行事への参加も含めながら相談や声掛けを進めています。また、会長ができるだけ多くの会員とコミュニケーションを取ることに努力しています。おはよう！ハイタッチ運動を日常的に推進したり、地域の各種団体・委員会の行事や事業へ積極的に

す。会員数の少ない我が校の実態に合わせて、各地区から万遍なく役員を選出する意味からも、小規模校においては効率の良い方法だと考えます。

②役員選考委員を選ぶ時期は、二月頃です。新年度の本部役員を十月から十二月にかけて決定した後、一月から二月にかけて各地区の代表者である地区委員を各地区毎に一名選出することから、この時期の決定となります。

③選ぶ役職は会長一名、副会長二名、会計一名です。会長（父母から一名）、副会長（父一名、母一名）、会計（父母から一名）を選出します。書記については、学校職員一名が担当します。副会長（母から一名）が家庭教育代表を兼任することとなります。やはり、効率の良い方法だと考えます。

④候補者の選考と基準は特にありません。しかし、現状としては、六年生から本部役員が選出されています。暗黙の了解の上、次年度は自分たちの学年の番だという風土が毎年感じられるようです。

⑤候補者へのアプローチと決定までの手順については、まず会長

参加したりしながら、PTA活動をリードしています。幅広い人間関係づくりが大切であると考えているからです。

また、目指すPTAの姿については、「子どもたちの気持ちを理解し、共有しよう」を活動目標として理想の姿を目指しています。

PTA活動を進めていく上で一番大切なことは、子どもたちの感情をしっかりと理解し、子どもたちの願い、意欲に沿った活動をしていくことだと考えます。そのためには、子ども「先生」保護者「先生」より強い絆を構築し、時には地域を巻き込んでの活動をしなければいけないと考えます。まずは、子どもたちが心から楽しめる（願いを実現できる）事をPTA会員が楽しめる（願いを実現する）ようにしたいと考えます。

子ども「先生」保護者「先生」楽しむ（願いを実現する）みんなと一緒に頑張る（願ったと思える）、を理想とし、共有（願いや思いを実現）していきたいと考えています。

実践紹介2 川辺町立川辺東小学校

**ポイント** 「話そう!語ろう!わが家の約束」運動を通じた家庭の中のふれあい作り

- ①今年度の川辺東小PTAの願いを大切に
- ②①に川辺町連合PTAが推進するKMS9運動を加え、さらに各家庭の取組も追加して「話そう!語ろう!わが家の約束」運動に

今年度の川辺東小PTAのスローガンは「ふれあい・笑顔を大切に」であり、活動の重点を「家庭の中で語り合う時間をつくる」「家庭から言葉づかい・あいさつを身につける」として活動を進められています。

平成30年度1学期 川辺東小KMS9運動		川辺東小PTA	
取得開始期	1年～3年: 6月20日(水)～7月3日(水)	4年	6月22日(水)～7月6日(水)
学年	長年( )		
日	曜日	実施にあいさつ	ほかほか言葉をつくる
4/30	木		
5/1	木		
5/2	金		
5/23	土		
5/24	日		

**KMS9運動とは…**

- ★ケータイ(K)やメール(M)、SNS(S)の健全利用を!
- ★小中9年、9つの重点、午後9時までの使用をめに!
- ★いじめやトラブル、犯罪から子どもたちを守ろう!

**テレビ視聴やゲーム・携帯電話に使っていた時間を減らして…**

- ★「何時何分から何時何分までは、○○をしよう」
- 「会話の時間」「読書」「お手伝い」
- 「その他」(家庭学習や新聞)

**保護者の感想**

- ・テレビや携帯電話なしで会話をする事の大切さを改めて感じました。
- ・高学年になると、言葉遣いが悪くなるので、家でも学校でも「ほかほか言葉」を使えるといいなと思いました。
- ・ゲームをしない日を決めたことが良いことだと思いました。これからも続けたいと思います。

平成30年度  
川辺東小学校  
PTAスローガン

「ふれあい・  
笑顔を大切に」

川辺東小PTAの重点と、川辺町連合PTAで推進している「KMS9運動」を融合した「話そう!語ろう!わが家の約束」運動です。親子で家庭生活を見直し、テレビ視聴やゲーム・携帯電話に使っていた時間を減らすことで生み出した時間に、無理なくできる内容を実践することで、家庭内のふれあいや笑顔を多く作り出されたすばらしい実践です。

県のホームページでは、他にも家庭教育学級の情報を発信中!ぜひご覧ください!!

岐阜県 家庭教育学級

**お気軽にご相談ください!**

家庭教育学級や企業内家庭教育研修等、内容から講師選定までご相談に応じます。

- 環境生活政策課 ☎058-272-8752 (直通)
- 西濃県事務所 ☎0584-73-1111 (内線219)
- 中濃県事務所 ☎0575-33-4011 (内線210)
- 可茂県事務所 ☎0574-25-3111 (内線208)
- 恵那県事務所 ☎0573-26-1111 (内線209)
- 飛騨県事務所 ☎0577-33-1111 (内線235)

実践紹介1 安八町立牧保育園

**ポイント** 幼児期からの家庭教育の充実を意図した幼児学級

- ①子どもたちの実態に応じた保護者の学びの場の設定
- ②子育てサロンで保護者同士の絆づくり
- ③保護者役員の見事なリードによる楽しい雰囲気作り

「子どもたちがあまり昔話を知らないので、親子で昔話に親しめる学びの場が欲しい」そんな声を受けて開催された幼児学級「そうだ!昔話を読もう」。今回は安八町立牧保育園の実践を紹介します。



**講演会「そうだ!昔話を読もう」** (講師: 酒井俊巨家庭教育推進専門職)

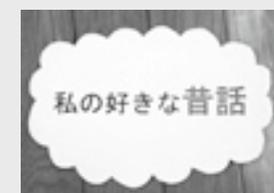
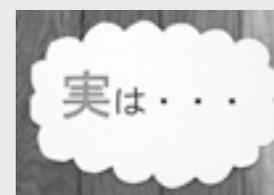
保護者が読み聞かせをすることのよさは…

- ・子どもたちは、愛されているという安心感をもつ
- ・子どもたちの想像力や空想力が育つ
- ・これから体験する人生を想像の中で経験することにより、「生き方の準備」ができる

**子育てサロン「私の好きな昔話」**

保護者が箱に入ったボールを引いて、その色で4つのグループに分かれました。おそろいのTシャツで身を固めた保護者会役員がそれぞれのグループに入り、交流会をリードしました。

1. 子どもの名前と組、自分が呼ばれたい呼称を書いて胸に貼る
2. アイスブレイク (緊張を解く)
  - ・「実は…」に続けて意外な自分を紹介する
  - ・「実は…私、スキーマの国体選手だったんです。」など…
3. 「私の好きな昔話」
  - 「私は「かぐや姫」が好きです。その理由は…」
  - ～この後は子育てについて自由な交流時間となりました～



**参加者の感想**

- ・昔話の内容にいろいろな教訓が含まれていて大事だということ。そして、読み聞かせをして親子が一緒にいる時間が愛情のものさしになると改めて気付かされました。交流会では、絵本を読んだ方が言語力に違いが出ると、実体験のお話が聞けたので、寝る前の読み聞かせを頑張ろうと思います。
- ・大人も一緒に絵本の世界に入って、気持ちを込めて読んであげたいと思いました。
- ・「生の母の声で」という部分で、30代になった今でも、母の声を聴くとどこかで安心する自分があるなあと、子どもにとっての「母親」の存在の大きさに改めて気付きました。
- ・他のお母さん達と交流する機会があり、よかったです。これからも、いろいろ話す機会があるとよいと思います。



家庭教育学級という場をきっかけに保護者同士が仲良くなり、気持ちをわかり合って子育てに向かう姿勢を作られています。また、同時に昔話や読み聞かせに関する講話を聞いたことで、多くの保護者が、今後わが子のために何が出来るかを考え始められました。

乳幼児期からの家庭教育の大切さが叫ばれていますが、保護者リーダーの主体的な働きかけにより、保育園においてもすばらしい家庭教育学級が開かれています。

## みんなと共に育ち合う

岐阜聖徳学園大学教育学部特別支援教育専修 教授 安田 和夫

一年前の衝撃・・・誰よりも  
楽しそうだったA君

今から一年二ヶ月ほど前、養老町にある日吉幼稚園（現在は「日吉こども園」）を訪問したときのことです。「年長（五歳児）クラス」の活動を見せていただくために、遊戯室にご案内いただきました。そこには、つぶらな瞳を輝かせながら、近く開催される敬老イベントで披露する出し物の練習に一生懸命に取り組む園児の姿がありました。大きな声で歌う子、楽器を使う子、ポンポンをもつてリズムよく踊る子など、どの姿も素敵でしたが、私から見て、誰よりも楽しそうに、ポンポンを振って意欲をみせる男児A君がいました。

よく見ると、A君は、何らかの事故か病気かはわかりませんが、胸から下のマヒがあるようです。それでも、両手をうまく使いつながり、ポンポンを自在に操るだけでなく、器用に自分の体をコントロールし、一人で、車椅子へ

や相談をされました。

しかし、何より大切だったことは、学校の子どもたちやPTAの皆さんへの周知や理解を得ることでした。入学式、始業式における校長先生のお話や、PTAの席では、お母さん自ら、A君のことについての説明やお願いがあったところです。後で先生にうかがったところ、お母さんのお話を聞かれたPTAの皆さんからは、温かくも力強い反応があったそうです。

現在の様子と

「二年生」に向けて

先日、日吉小学校に訪問する機会があり、久しぶりにA君の通常学級での授業を見せていただきました。A君は、予想どおり、明るくのびのびと授業を受けていました。学習時に使う椅子と車いすとの移動も、スムーズにできていました。書くことに多少苦しさがあるようですが、わからないことは身近な先生に積極的に相談する姿

の乗り降りをしています。周囲のみんなも、その様子を特別なこととして眺める様子もなく、受け入れていきます。

私は、様々な保育、教育の現場を見てきていましたが、これほど、集団活動の中で、障がいのある子もない子も生き生きと活動している場面を見たことがありませんでした。それは「衝撃」でした。こうした不自由さを抱えていると、先生の陰に隠れ萎縮している様子や、別メニューを与えられ不完全燃焼をしている様子に出会うことも多いのですが、ここには、分け隔てのない中で、たくましく生きる子どもたちの姿があったのです。

きつと、そこまでに至る幼稚園の取り組みがあったことはもちろんですが、A君のご家族ものびのびとお育てになったのではないかと推察することができました。

しかし、半年先に控えた二年生への進級にあたり、少し気がかりなことがあるようです。二年生になると、二階の教室になります。ご本人やご両親は、進級する期待と二階で勉強することへの憧れを膨らませているそうです。今後、毎日、昇降機を使って移動するの

か、教室位置を変更するのかなど、学校と本人、ご両親との話し合いが行われることでしょうか。

合理的配慮というのは、信頼関係に基づく合意形成のプロセスこそ大切です。お互いの主張や思いに耳を傾け、どうすることが両者にとって無理や制約が少なく、安心安全な学校生活や実力を発揮できる学習環境に近づくか、話し合いを積み重ねることだと思います。まだまだ、A君が地元校で、級友とともに学び生活するための話し合いは続くことでしょう。しかし、この営みは、共に生きる智慧とな

地元小学校でこそ  
学んでほしい

この幼稚園でA君と共に生活している園児は、近くの日吉小学校に入学することがほとんどです。その日のケース会議で、「A君と周囲のお友達の様子を見ていましたが、A君の障がいや抱える困難さを感じさせない環境づくりや温かな人間関係が見えてきました。A君が、たとえ肢体不自由があったとしても、地域の小学校で学び生活できることは十分可能だと思いますし、インクルーシブ教育のモデルにもなり得る事例だと思えます。」と発言しました。

その後、特別支援学校へ就学するのか、小学校へ就学するのか、養老町教育委員会、幼稚園、小学校、保護者で、何回も話し合われました。A君を受け入れるには施設整備が十分ではなく、また、専門の教員を確保することが難しいことなど、小学校がA君の入学を

り、かけがえのない経験値となり、子どもたちの心に本当の「仲間」の意味や意義を宿し、教育委員会や教職員の自信となり、保護者や地域の皆さんの誇りになることでしょう。

これからも、陰ながら、A君とご家族、日吉小学校の子どもたちや教職員の皆さん、そして、地域の皆さんを応援していきたいと思えます。

受け入れるには様々な困難な状況があったことは想像できます。何回かの話し合いを経て、最終的に、地元の日吉小学校への入学が決まりました。入学後、お母さんは、小学校の校長先生から、とても温かい言葉をかけてもらえたことに感謝しておられました。

そして、入学

さて、A君の入学に向けて、具体的にどのような合理的配慮が必要なのか話し合わせ、机やいすの形状、車いすによる移動など、ひとつひとつ詰めていくことになりました。養老町教育委員会は、他校で寄付された「車椅子に乗ったまま階段を移動できる昇降機」を活用することとし、日吉小学校では、事前に、その機械の安全な操作方法を学んでおくために、四名の先生が講習を受けられたそうです。また、介助や支援を要する際の具体的な対応も全教職員で協議

## 学校紹介

本校は、「歯・口の健康づくり」を大切にしています。子どもたちは、歯みがきが大好きです。歯みがきへのひたむきさと学校・家庭・学校歯科医・地域のつながり・ひろがり・つづく・山手はっぴー活動（歯科保健活動）が評価され、昨年度、日本一の歯みがきの学校に選ばれました。



本校のシンボル「ベンチ式の歯の記念碑」



歯みがきタイム合言葉「集中歯みがき」



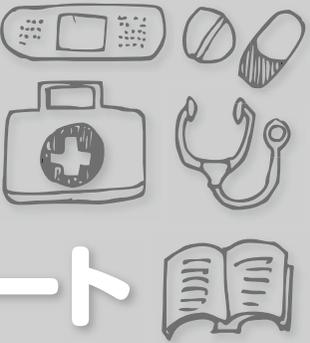
6年生が下級生に教える「なかよし歯みがき」

一緒にする歯みがきや仕上げ磨きの時間は、親子のスキンシップになりますよ。



美濃加茂市立山手小学校  
養護教諭  
稲垣 章子

## 保健室



## ノート



保健室の入口に置いてある  
手作りのwelcome陶器

## 手のぬくもりは「魔法の薬」



みんなが入りやすく、ほっとできる保健室づくりに心がけています。

〔わたしの保健室日記より〕

四月、「気持ちが悪い。」と胸に手を当てて、一年生の男の子がモジモジしていました。ソファと一緒にすわり、背中をさすりながら話をしました。新しい環境に不安な気持ちでいっぱいなのでしょう。しばらくすると、「治ったよ。」と笑顔で教室に戻っていききました。その子にとって、ほっと息ついて元気を取り戻した瞬間でした。

五月、朝、女の子がうつむいて保健室の前で立っていました。おうちのひととの別れがさみしくて、目に涙を浮かべています。そっと

上げた手に、「がんばれ!!応援してるよ」の気持ちを含めてタッチすると、一歩一歩教室に向って歩き始めました。そのタッチは今も毎日続いています。タッチは、その子の気持ち切り替わる瞬間です。

六月、男の子がのぞいていました。恥ずかしがり屋さんで、なかなか目を合わせません。隠れてしまいました。「先生ね、かくれんぼ大好きだよ。みつけた!!」、ソファの後ろをのぞくと、ニコッと目が合いました。そっと手を差し出すと、「きよとん」としています。「よろしくね」のあいさつだよ。」と、もう一度手を差し出してみると、あたたかな手で握り返しました。その子が私になかよしになった瞬間でした。

本校に赴任して五年目、子どもたちの手をたくさん握り、抱きしめてきました。保

以前目にした本に、眠る前に体をさすると喘息の子の発作が和らいだ、なかなか寝付けない子がぐっすり眠れたと、手のぬくもりの「素敵なパワー」について紹介されてきました。きつと、手から伝わる「LOVE(愛)」がストレスを小さくし、いつぱいの安心感を与えるのではないのでしょうか。

手を握る、手と手でタッチする、頭をなでる、額に手をあてる、手で頬を包む、肩に手を置く、お腹をさする、抱きしめる、おうちの人の手のぬくもりでお子さんを包み込んであげてください。それが親子のスキンシップとなり、お子さんの毎日の元気につながるのだと思います。

保健室にいと「お腹が痛いよ。」とお腹をさする手、「血が出ちゃった。」と涙を浮かべながら傷口を指さす手、「あのね、あのね。」とエプロンにまとわりつく手、「先生、お話タイムしよっ!!」と腕を引っ張る手、ソファと一緒にすわっていると自然に手を握ってくる手、「せんせーい。」と両手を広げながら抱きついてくる手、子どもたちは言葉だけでなく、小さな手で一生懸命に語りかけています。それは、子どもたちからの「心のメッセージ」のようです。私にできることは、その手を握り返して、ぬくもりを伝えること、「心の声」に耳を傾けること、子どもたちの「目の高さ」に立って一人ひとりの世界をのぞかせてもらうこと、そうやって「子どもたちの心に寄り添いたい」と保健室にいます。

担任の先生から、「保健室の先生の、おまじない」で、体調が悪い子が元気に教室へ戻ってきました」と言われたことがあります。保健室には「手のぬくもり」という魔法の薬があります。「ようこそ保健室へ」と両手を広げながら、今日も子どもたちを迎えたいと思います。

## 先生からの言葉

各務原市立那加中学校 教諭

西元 咲

十月。六限目の講義が終わり、友人と歩く薄暗い帰り道。検索した画面から自分の受験番号を見つけ出したときのことは今でも鮮明に覚えています。「まさか私が先生に。」という驚きが走り、夢が叶った喜びは後から追いついてきました。

あれからまだ一年しか経っていないことに改めて驚きます。幼稚園のアルバムで「しょうらいキーキやさんになる」と書いていた私は、いつから教師を志すようになったのでしょうか。振り返ってみると、ある二人の先生との出来事が思い出されました。

小学六年生のとき、私はY先生に出会いました。そのY学級で起こった、今でも忘れられないことがあります。

ある日、修学旅行のバス座席決めのためにペアを組むことになりました。その時、「自分たちで話し合って決めるように」というルールがあったことは覚えています。私は、いつも仲良くしていた友達と何の迷いもなくペアを組むことになりました。しかし、クラスで二人（AさんとBさん）が仲のいい子同士でペアを組めなかったのです。「それなら、そのAさんとBさんが組めば良い。」と率直に思います。小学校最後の宿泊行事とあって、Aさんはどうしても仲のいい子と組みたかったようです。Bさんとペアになることを拒み続けていました。Bさんは悲しい表情をしていたと思います。そのときの私はというと、自分が決まっていたので、すっかり他人事でした。決着がつかないまま時が経ち、ついにY先生がクラス全体に向けて口を開きました。

「どうして悲しい思いをする子がいるの。」

その言葉を聞いた途端、心にちくりと針が刺さったような感じがしました。「クラスの人みんなで叱られている。」そう思おうとしても、やはり心の中はモヤモヤしました。先生は珍しく感情

的に指導をされました。続けて「このままでいいの。」と問いかけられると、いよいよ苦しくなってきました。結局、その言葉を聞き入れたAさんは、Bさんと組むことになり、修学旅行を迎え終結しました。しかし私は、あの時の胸のざわめきを今も解消しきれいていません。なぜ、あのとき先生はあんなに訴えかけてきたのか、当時は正直、不思議に思いました。しかし、今思えばあのときの不思議に思った気持ちと、先生の言葉を聞いて生まれた罪悪感が、教師という仕事に興味を持つきっかけとなりました。

その出来事から、教師に対してぼんやりとした興味を抱き続け、気が付けば中学二年で行う職業体験では小学校に行き、大学も教員免許を取得できることを条件として志望していました。

大学に進学してからは、それなりの思いを持って教職課程を履修し続けました。しかし、大学二年の秋になっていよいよ現実的に捉えなければいけなくなるとき、不安がこみ上げてきました。「自分が教師に向いているのか。」やっとな自分と向き合うようになったのです。思えば、私は中高で目立った活動をしてきませんでした。先輩方は「生徒会で…」「文化祭の実行委員で…」「リーダーを経験して…」という言葉をお口々に発していました。私にはそれがありません。「私は子どもに何を伝えられるのだろうか」考えても答えがはっきりとしませんでした。いよいよ困り果てて、私は大学のH先生に相談しました。すると案外簡単なこたえが返ってきたのです。「あなたなら大丈夫。」

拍子抜けしました。しかし不思議と、この一言が、小学六年で経験した胸の痛みとはまるで対照的に私の心を軽くしました。それまでずっと悩んできたことが、たった一言で救われました。

三月。故郷の地を離れ、岐阜県にやってきました。教師になってから半年しか経っていませんが、もうすでに何十人もの「私の先生」に出会うことができました。これから先も、私は多くの先生と出会い、憧れ、学び、「私の先生」が増えていくことでしょう。

そして、私もY先生やH先生のように、私の言葉で子どもたちに思いを届けられたらと願います。明るく照らし、時には曇らせることもあるでしょうが、その度に子どもたちと向き合い、誰かにとつての「私の先生」になっていきたいです。

## 未来の城西

三十年前に私は城西小学校を卒業し、今では私の子どもたちが通学しています。

子どもたちが通学するようになり、また、私もPTA会長の大役を仰せつかるようになり、母校に立ち入る機会が増えました。

懐かしい校舎内を参観していた時のこと、私たちの卒業制作の作品を見つけました。

その作品は「未来の城西」というタイトルの絵で縦一m、横三mほどの大きさで、色あせてはきましたが、私には色あせてない感じがしました。

当時、六年生だった各自が未来の城西をイメージして絵を描き、それらを集約して一枚に仕上げ、皆で色を塗り、完成させたものでした。三十年前の私が描いた未来の城西（世界）は、映画「バックトゥザフューチャー」に出てくるような宙を浮いた車が飛び交っている様子を描いたのを覚えています。

そのような出来事を思い出しながら教室を見ても、エアコンが設置されていて、とても驚きました。私たちの頃には、冬にストーブの設置はされましたが、暑い夏の時期には、下敷きを仰ぎ、汗を流しながら授業を受けていました。岐阜の夏は暑く、特に今年のような猛暑にはエアコンが大いに役立ち、授業も受けやすかったことと思います。

更に、授業参観をしていくと、パソコンを利用して、つながるよさを学ぶ。私は両者ともに大事なことでと思っています。

私たちの卒業制作は、これまで、設置場所を転々としてきましたが、今は子どもたちの昇降口前に飾られています。

子どもたちが、この「未来の城西」を見て今を大切に感じて生きることや、自分たちの未来を豊かに想像する一助になってほしいと願っています。そして、私たちの想像を超える「未来の城西」の実現を夢見ています。

た授業や、タブレット端末を使う授業に驚きました。卒業制作の時、思い描いた未来がここにあるように感じました。

ところで教室や授業風景は変わりましたが、城西小学校では今も変わらず続いている行事もあります。それは、卒業制作の絵にも描かれている川（早田川）の清掃です。

清掃活動が始まった頃はとても川が汚れていたため、魚の住める川にしようを目標に活動が始まったと聞いています。私が小学生の頃は上級生が川の清掃を行い、下級生が錦鯉の幼魚を放流するということをしていました。それが今では、「城西クリーン作戦」と名付けられ、稚魚の放流こそ行っていないせんが、上級生は川の清掃、下級生は学校のグラウンド等の草引きや清掃を行っています。家族や地域の方々に支えられ、毎年開催されており、今年で四十三年続く伝統行事となっています。その行事では、子どもたちが家族や友達、地域の方々と笑顔で話しコミュニケーションをとりながら作業を行っています。教室ではできない経験ができると思っています。

以上のことから教室では、私たちの時代には無かった英語や、ICTを利用した授業を通して今の時代に通用する知識や技能を学び、一方で、地域活動では昔から続く伝統行事等を通して地域の人とふれあ



PN. レム (高山市)



齊藤 柊花 (羽島市)

### question 1

出題・遠藤 凌介 (山県市)  
〈答えは41ページ〉

かけたり割ったりできるが、足したり引いたりできないものは何？

# 楽しい読み聞かせ 2

## 子どもたちの世界を広げる「読み聞かせ」

池田町立池田小学校PTA

「今日は、読み聞かせだよ。」  
「今日の本はどんな話かな。この前の話みたいに探検する話がいいなあ。」

読み聞かせのある金曜日には、子どもたちの期待が高まります。池田小学校では、朝活動の時間を使って読み聞かせを実施しています。

### 読み聞かせボランティアの回数や方法

読み聞かせは平成十五年頃からPTA活動とは別に、自主的な保護者の活動としてスタートし、継続しているものです。年度の初めや途

中に保護者や地域の方に「読み聞かせボランティア」を募り、今年度は、保護者を中心に十五人のボランティアの方をお願いしています。低・中・高学年部ごとに年間各学級十回ほどです。学級をその日来る方の人数に合わせて分け、子どもたちがボランティアの方の周りに集まって読み聞かせに参加します。

### 読み聞かせの本の選び方

ボランティアの方々には、自分の担当する学年に合わせて本を選んだり、中には、町の図書館から大型

絵本を借りてきたりして本を準備していただいています。子どもたちが初めて大型の絵本を見たときには、わっと歓声が上がりました。

ボランティアの方たちは、活動後、子どもたちの反応や集中の様子を記録されます。ある日の活動後、ボランティアの方が、「反応がよく、こちらの問い掛けにも答えてくれたのでやりとりをしながら読み進めることができました。五味太郎さんの『かかかか』』『どどどどど』は、単純な言葉の並びなのにとっても楽しんで聞いてくれました。」と感想を書いてみました。それを他の

### 子どもたちに人気のある本

リズムカルな言葉の面白さのある田島征彦さんの「じごくのそうべえ」シリーズや穂高順也さん、木村裕一さんの絵本は、子どもたちが興味深く聞くことのできる本です。

低学年の子どもたちほど、よりボランティアの方の近くで物語の世界にのめりこみ、びっくりしたときには驚きの声を出して素直な反応で本を楽しんでいます。

### PTA(保護者)の声

保護者からは、読み聞かせが、毎年継続して行われていてとてもよい活動であり、普段あまり読まない分野の絵本を読んでもらうて、読書の幅が広がってよいといった声が多くあります。また、子どもたちの中にはこの読み聞かせで読んでもらった本を、実際にもう一度図書室で借りたり、同じ作者の書いた本を選んで借りたりする子どももいます。本を家庭に持ち帰ることで、読み聞かせや本

のことについて会話が増えることにもなっています。

ボランティアの方が創り出す絵本の世界は、子どもたちの読書の楽しさを大きくします。

こうした読み聞かせの活動が、子どもたちの読書生活や本に親しむ機会を広げることにつながっています。



方が読み、五味太郎さんの絵本が、他の学級にも広がっていくということもありました。

## Illustration&Quiz

イラスト&クイズ



PN. ひかるうさぎまる (高山市)



PN. Tomosaburo (養老郡)

### question 2

出題・赤堀 れいき (岐阜市)  
〈答えは41ページ〉

目が三つで、足が一つのものは何？



\*\*\*\*\*  
そして父になる  
是枝 裕和 / 佐野 晶 著  
宝島社文庫

山県市立伊自良南小学校PTA会長  
早川 光嘉



私がこの本を読もうと思ったきっかけは、福山雅治さん主演の

映画「そして父になる」を観たこととです。日頃は忙しさを理由にあまり本を読む機会がありませんが、映画を観たことから一度読んでみようと思いました。

この物語はフィクションです。ある日、エリートサラリーマン野々宮の息子・慶多と、小さな電気屋を営む斎木の息子・琉晴が、生後まもなく病院で看護師の故意によって取り違えられていたことが明らかになります。慶多は一人っ子で、控えめな性格。都心のマンションに住み、小学校受験のために塾やピアノ教室へ通っています。一方の琉晴はやんちゃで活発。弟や妹とともにくらし、初めて会った子ともすぐに友だちになっってしまうような男の子です。

慶多の父は大手建設会社に勤務するエリートで、数々の大規模な建築物を手掛けてきた花形部署のリーダー的存在です。仕事が忙しく、慶多のことはほとんど妻に任せています。母は専業主婦で、夫に従順に尽くす人です。一方、小さな電気屋を営む琉晴の父は、子

どもたちと一緒に本気で遊び、壊れたおもちゃはどんな物も直してしまします。母ははつきりと物を言う人で、愛情たっぷり子どもたちを育てています。そんな対照的な二つの家族の間に発覚した、子どもを取り違え。ともに過ごした時間か、血のつながりか。

互いの家で一晚を過ごさせる「交換お泊まり」を経て、実の子ともにくらし始める二つの家族。慶多の父は、奔放に育てられてきた実子・琉晴との関係がうまく築けず、葛藤します。しかし、上司から異動を命じられたことを機に、琉晴と正面から向き合うようになります。新しいわが子にきちんと向き合ったことで、これまでわが子だった慶多と十分に向き合っただけにならず、自分にも気付くようになります。

斎木家は、冗談が好きで子どものような父と、家計を助けようとお弁当屋さんにパートで勤める母。私には共感するところが多くあり、自分自身の子育てを見直すきっかけにもなりました。

妻が主導権を握る斎木家は、夫婦の掛け合いが楽しく、つい笑みがこぼれます。どちらの家庭が良いとか悪いとかではありませんが、愛情を込めてわが子を育てているところは同じだと思います。物語の最後に、二つの家庭はどのような選択をするのでしょうか。

読み進めるにつれて、子育ての大切さをあらためて実感する一冊です。子どもと同じ目線に立ち、共感することが大切だと、再認識しました。わが家には三人の子どもたちがいます。子どもたちのおかげで楽しく充実した日々を送ることができているのだと思います。忙しいお父さん、お母さん、今一度、お子さんのわがままな遊びに付き合ってみてはいかがでしょう。そこには、自分自身が親とともに過ごした思い出がよみがえってくるのではないのでしょうか。そんな思い出を子どもたちにもたくさん作ってみませんか。忙しさの中でときおり忘れがちになる、そんな気持ちを呼び起こしてくれる物語です。

\*\*\*\*\*

### 陸王

池井戸潤 著  
集英社

輪之内町立輪之内中学校PTA会長  
松原 寛



少し前、テレビで放映された。作者の池井戸潤は、岐阜県出身の作家である。加茂高校から慶應義塾大学への進学、しかも文学部のみならず法学部まで卒業しているある意味秀才である。同じ岐阜県人として興味もあった。テレビでの放送は、毎週見なければならず、ちょっと面倒だったが、見ていくうちにそんなことはどこかにいくほど夢中になっていく自分がいた。

北陸の小さな「足袋や」今の子どもたちには馴染みのない足袋と

言う言葉だが、その足袋やが今のままでは廃業しなければ...というところまで追い詰められてからの考えた末の決断であった。この決断こそがこの物語の始まりであるが、あえて苦労するであろうことに挑戦することになかなかの思いを寄せた。自分だったらどうするか？あえて挑戦することのために思いを持ち、抜き差しならない状況での従業員への思いもあり必死に考えた末の決断。こんな状況をまるで楽しむかのような挑戦をあえてしていく主人公の思いは、自分の中で次第にこの人はきつと何があっても乗り越えていくんだらうなあ。この思いが膨らんでいった。

横槍が入り、原材料が手に入らなくなった時。銀行からの融資を断られ、資金繰りに困った時。せっかく作ったシューズを履いてくれる陸上選手を見つけない時。同じシューズメーカーからのさまざまな嫌がらせや妨害など数え上げたらきりがなほどの苦労をしな

がらも、決して諦めない強い思いに

次第に感動を覚え、頑張れ！とエールを送らざるを得ないほどであった。特に、ライバル選手とその選手を支える会社が「陸王」と名づけた靴をバカにして笑い飛ばした時などは、まるで自分がバカにされたかのような錯覚すら覚えたほどであった。

諦めない力は、いったいどこからわいてくるのだろうか？と感動を覚えつつ不思議であった。諦めない力！は、どんな人にも持てるものであるうが、簡単に諦めてしまう方が楽という思いが人間にはあるように感じる。

「陸王」と名付けられた一足のシューズの小さな物語ではあるが、十分に感動や諦めない心を教えてくれる物語であることは、間違いないと感じている。今の子どもたちに諦めない気持ち・努力し続ける強い思い・窮地に陥っても諦めないことなど伝えたいことが満載に詰まっているような気がする。ぜひ一度目を通してもらいたい作

品である。

最後は、やはりマラソンで優勝するという感動があり、涙を誘う。大人でも感動で涙しても良いのではないか！楽しいというより、しっかり読み応えのある作品である。





モットー：いつでも、前を向く。

特技：どの時代の人も仲良くなれる。

夢：安心、安全な社会の実現。

# 三井住友海上 時空保険 探査部

Space-time Insurance Exploration Department

過去、現在、未来に学び、損害保険と人類の関わりを調査し、時空を超えた先にある数々の出来事を、ご紹介していきます。

あなたを守る。  
あしたを作る。  
三井住友海上

変わらない日々のために、安心の保険を。まだ見ぬ世界のために、新しい保険を。守ることと作ること、その両方を繰り返しながら私たちは、前へ歩み続けます。



夢：ロマンのある保険をつくる。

特技：ポジティブシンキング。

モットー：探究心を忘れない。

## 3つの約束

恵那市立大井第二小学校PTA書記 鈴木 邦幸



我が家は私たち夫婦と中学二年生の長男、小学六年生の次男、小学四年生の娘の五人家族です。我が家の親子間の約束を紹介します。

一、夜更かしをしない  
子どもと話し合って決めた訳ではありませんが、早寝早起きは子どもの健やかな成長に必要と考え、幼少の頃から実施しています。子の成長とともに就寝時間は徐々に遅くなってきましたが、朝も早く起きて賑やかです。成長するにつれ、遅い時間のTVを観たがるようになりましたが、録画で対応しています。長男は自室でそこそこ起きていることもあります。早寝早起きは今後も続けていきたい約束です。

二、毎日お手伝いをする  
お小遣い制を導入する時、親子で話し合っ決めて決まりました。長男は風呂の準備、次男は朝刊の取り込み、娘は夕飯の手伝いを、それぞれ行っています。

三、ゲーム、使用制限  
ゲーム機を購入する際の約束で、使用時間は平日三十分、休日は一時間とし、自宅では親の目が届く居間で遊ぶ約束としました。例外で友達が来た時は自室で遊び、時間も特に決めていません。



鈴木家  
の巻



話そう!語ろう!  
わが家の約束



大野家  
の巻

85



高校二年生と中学二年生の娘達と親の四人家族です。年一回は旅行に行く様になっていますが、近年各々の主張が強くなり、行先が決まりにくくなってしまいました。けれど、旅行には行きたい!ので、最近では四人でジャンケンをして勝った人の希望の所に行くようになりました。他の三人は乗る気がなくても、勝った人の希望を叶えるように付き合っ、毎年旅行に行ける事を楽しみにしています。

『知らない人にも挨拶を』  
我が家は自宅兼店舗となっている為、帰宅時などお客様とすれ違う時があります。子どもからすると、知らない大人に自分から挨拶する事は勇気のいる事だと思えますが、商売をやっている家に生まれた宿命だと思っ、小さい時から進んで挨拶をするようにしています。

現在、思春期真っ最中ですが自ら進んで挨拶をしてきています。

郡上市立八幡中学校PTA会長 大野 隆行  
家族旅行はジャンケンで

## 子の思い

りゅうじん火まつり

下呂市立小坂小学校

三年 後藤 菜穂

八月一日に家族と下呂のりゅうじん火まつりに行きました。りゅうじん火まつりでは、わたしが一番好きなのは青と白です。でも、他のりゅうじんもとってもはく力があって、本当のりゅうじんという感じにあげていました。「わんみこし」もあって、五頭のりゅうじんが「わんみこし」をさがしていました。りゅうじん火まつりは、そんなむかし話があったことから始まったそうです。五頭のりゅうじんが「わんみこし」をさがしてからみ合う所が一番はく力まん点でした。わたしはりゅうじん火まつりにはじめて行って、真ん中にりゅうじんを見てみると、何だかとても元気になりました。そして、りゅうじんを動かしている人は大へんだらうなと思っ

てはく手をする時は大きな音になるように力いっぱいたたきました。まわりの人たちも大きくはく手をしていました。わたしは、りゅうじん火まつりは、多くの人にあいされているんだと思いました。

## ゆめのはじまり

飛騨市立河合小学校

四年 松井 楓真

ぼくは今、地域の陸上クラブに入り、短きより、はばとびを中心に練習しています。そんなぼくには、あるゆめがあります。それは、サッカーの試合で活やくすることです。

ぼくは前まではサッカーボールをけって遊んでいるだけだったけれど、あるアニメを見てかっこいいなと思っていました。そして、ある日の夜にお父さんが「楓真は何のスポーツをこれからやっていたいんだ。」とぼくに聞いてきました。ぼくは「サッカーがやり

たい。」と答えました。

その日からぼくはいろんな練習を始めました。練習はドリブルやかべにボールをけったり、リフティングをしたりしました。その中でぼくがあまりできなかったのはリフティングです。「リフティングはよゆうで、三十回くらいできないとだめだ。五年生で入ってもおくれるだけだ。」とお父さんは言いました。だから今たくさん練習しています。

ぼくにはたくさんおうえんしてくれる人がいます。だからぼくはそんな人にお礼のいえるようなサッカー選手になりたいです。

## 「私って、変ですか？」

揖斐川町立北和中学校

三年 宮崎 良菜

この文章は、今年行われた英語スピーチコンテストで、私が発表したものを日本語に訳したものです。

私は誰とも話すことができま

## 親の願い

笑顔で、優しさを忘れずに

御高町立上之郷小学校PTA

副会長 村瀬 美歩

私の祖父、子ども達にとつての曾祖父が亡くなって、この十一月でちょうど一年が経ちました。九十四歳の大往生でした。

その祖父の生前の日課は、行きつけの喫茶店へモーニングに行くことでした。体のこともあり、畑仕事をするのを止められていた祖父の唯一の楽しみでした。特に楽しみにしていたのが、休日に曾孫

す。そんな私を「変」と言う人もいれば「変じゃない」と言う人もいます。では、普通って何でしょう？日本人は、血液型や星座、生まれた年などで性格をあてたり、判断したりすることが好きです。例えば、血液型だと私はO型です。O型の人は、優しくマイペースでたくさんの人に慕われやすい性格だそうです。でも、それが私の性格ですか？

私の性格はマイペースだし、他のO型の特徴にも合っていました。それは少し怖さを感じましたが、私が完璧なO型になってもそうではないと信じています。私の性格は、母にも似ていますがそれ以上に祖母に似ています。祖母は、活発で、フレンドリーで誰とも話すことができます。私はそんな祖母が大好きです。私の性格は、血液型で決められたのではなく、母や祖母の性格を受け継いだのだと思っています。

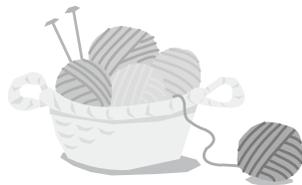
私は自分の性格を気に入っています。なぜなら、初めて会う子にもすぐに話すことができるし、新しい友達をすぐ作ることができ、得する

と一緒にモーニングへ行くことでした。休日の朝に私と子ども達が祖父の様子を見に実家へ行くとき、早速「モーニングに行くぞ！」と誘いがかかり、当時五年生の長男が、「うん、行こう！」と言って、一緒に私の車に乗り込むのが常でした。下の長女や次男もたまに行ってくれましたが、長男は毎回必ず行ってくれました。

喫茶店に着くと、祖父はホットコーヒーを飲みながら、新聞を広げてタバコを吸い、長男はジュースを飲みながら本を読んだり、ゲームをしたりして、一時間ほどそれぞれの時間をまったりと過ごしていました。私は、その間に買

ことばかりです。人の性格は、血液型で判断することはできないと思います。私のように思っている人はそう少なくはないと思います。私たちが日本人は、血液型や星座、誕生日などを使って相手の性格を決めつけて、勝手に印象を決めてしまうという悪い習慣があります。その日本人特有の習慣を、例えばアメリカ人のようにフレンドリーに話しかければ、その人たちの人生は大きく変わるかもしれません。

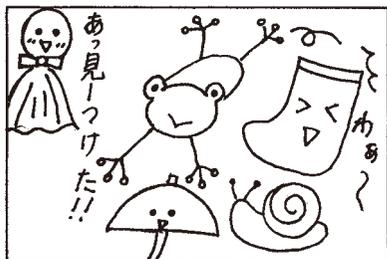
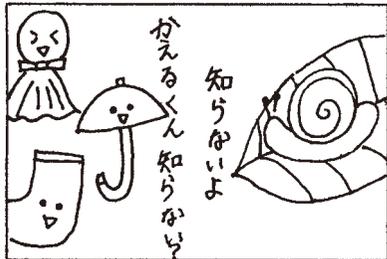
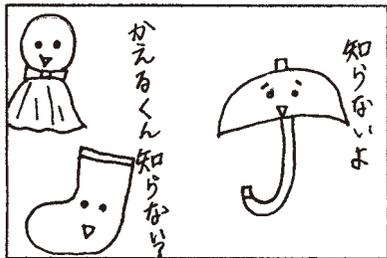
私の活発な性格と誰とも話せる力は、時々「変」と言われることがあります。それは、血液検査でわかるのですか？ 多分、私の性格は、アメリカ人のような性格です。そし



て、私の性格は、日本よりもアメリカでの生活の方が合っているのかもしれません。しかし、そのような性格を知るには、外見ではなく内面を知ることが必要です。考えてみてください。どんな世界が想像できますか。

大垣桜高校 まんが研究部

## かくれんぼ



## 逆さ言葉

ひるめしのたのしめるひ

(昼飯の楽しめる日)

出題・竹田 隆之介 (本巣市)

い物や用事を済ませて、時間になると喫茶店へ迎えに行くのです。長男は、何の気なしに祖父と一緒にモーニングに行っていたかもしませんが、祖父にとってはその時間はとても幸せで、心からリラックスできるかけがえのない特別な時間だったに違いありません。

私にとって、祖母に引き続き、子育てをしながらの祖父の介護は本当に大変なものでした。ストレスで体調を崩すこともありましたが、祖母も祖父もとても頑固で、病院に連れて行くのも一苦労でした。でも、そのたびに助けってくれたのは子ども達でした。二人とも、曾孫の言うことなら聞いてくれたのです。時には一緒に病院へ行って、診察の時間もずっと一緒に待っていてくれました。

そんな中、去年の夏に祖父が心筋梗塞で倒れ、何とか一命はとりとめたものの、慣れない入院生活の中で見る見るうちに心も体も弱っていきました。でも、どんな

に苦しい時でも、子ども達がいに行くのと笑顔を見せてくれました。子ども達のおかげで、祖父は最後までがんばることができました。

私はこれまで、子ども達を介護のせいで振り回したり、我慢させたりして、申し訳ない気持ちに常がありました。それでも子ども達には誰にでも優しく、思いやりのもてる子に育ってくれて、本当にうれしく、感謝の気持ちでいっぱいです。これからもその朗らかな笑顔で周囲を明るくして下さい。お母さんも笑顔で優しさを忘れないようにがんばります。本当にありがとうございます。

変わるもの、変わらないもの

土岐市立土岐津中学校PTA 会長 岩本千津子  
「お母さん（またはお父さん）が子どもの頃は〇〇ではなかった」「まったく、今の子どもは…」という言葉は、誰しも口にしたいこ

と、耳にしたことがあるかと思えます。

子どもに「オンラインゲームばかりして…」か「スマホばかりいじって…」と小言を言ったことはありませんか？私が子どもの頃によく言われた言葉は「昔はテレビなんてなかった」でした。そしてその後が続くのは「まったく、今の子どもはテレビを見てばかりで勉強しない」。まだテレビが一家に一台の時代でした。

家庭に複数台のテレビが当然の如く鎮座するようになった二十一世紀。今、子どもたちを虜にするのはテレビからネットに変わり、瞬時に世界と繋がることができるようになりました。子どもの頃にはなかった代物に、大人はすぐ規制する言葉を発してしまいます。時代が変わるとまずは抑制から始めるのが定石なのでしょう。

話は変わって、我が子は中学校で部活動に勤しんでいます。記録を伸ばしたくて悪戦苦闘し、記録が伸びなくて暗中模索の日々。文

教育の窓

本物にふれる体験から考えたこと

瑞穂市立本田小学校 教頭 上水流弘美  
ぎふは「清流の国」。清流と云えばやはり「長良川」です。県庁所在地を清流が流れる美しい景色は、私たち岐阜県の誇りです。長良川と言えば、鵜飼が有名です。今まで私は一度も鵜飼を見たことがありませんでしたが、この夏、鵜飼を見る機会を得ました。「これはすごい。おもしろい。」



船上で感じる風、鵜舟が近付いてくる期待、水面に映る篝火、鵜が潜る水音、船頭さんが船縁でならす音、篝火から舞う火の粉、篝火の熱、そして鵜匠さんが鵜に呼びかける声。目の前で繰り広げられる人と鵜が創りあげる舞台に、すっかり魅せられてしまったのです。本物に触れることで興味が深まり、数回にわたって足を運んだり、関連資料を読んだりしました。もっと知りたい、そして多くの人がこの素晴らしさを知ったなら、それは価値あることだと思

いから、同じ願いをもつ人たちのネットワークがうまれました。長良川と言えば、七月の豪雨で

字どおり青春の渦中にいるようで、思い起こせば自分も同じように部活動に没頭した三年間だった、と懐かしく思いながら子どもを見つめています。

そう、子どもの悩みは今も昔も同じ。社会が変わったからといって、どんな便利な世の中になっても、どんな便利な世の中になっても、子どもの成長過程は変わりません。嫌なことは先送りにする浅はかな考えも、友だちやつきあいなど青春の悩みも、そして大人への反抗心も、普遍なのです。

普段は日常に忙殺されて子どもの気持ち忘れ、ついつい大人の立場だけで物事を判断しがちですが、そんな私たちも昔は子ども。自分の過去に少々思い巡らせれば、子どもに対しての対処法が分かりそうなものです。

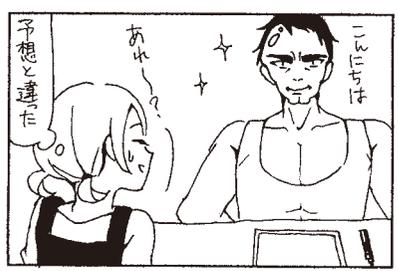
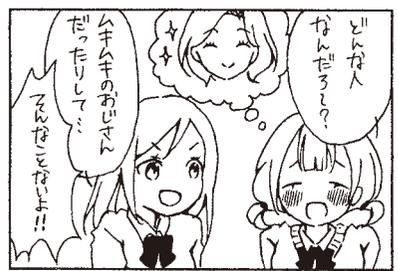
「昔は〇〇だった」と子どもに叱る前に「昔自分はどうかだったのかしら？」と立ち止まる。そんな子育てができれば、もっと子どもに説得力のある諭し方ができるで

はテレビ中継が入るほどの洪水に見舞われました。雨が降り続き、清流はどこへやら、濁流が渦巻きました。川幅いっぱい濁流は、ひたひたと道路に押し寄せ、みるみるうちに建物に迫ってきました。雨と濁流の音が何とも不安を駆り立てていました。幸い長良川辺りでは大きな被害を免れましたが、県内でも、また全国的にも被害が広がったことは本当に心の痛むことでした。自然の猛威を目の当たりにし、人間の力の及ばないことについて思いを致すと同時に、普段は静かな流れの中に隠された川の性質といったことについても考えさせられました。今も、

しよう。

でもね、そんなことができたなら聖人君子ですって。私たちも悩みながら子育てすればいいじゃない。社会が変わっても、人の本質は変わらない。子どもの悩みも、子育ての悩みも変わらない。歴史は繰り返す。それが人間だもの！

先生との出会い



逆さ言葉

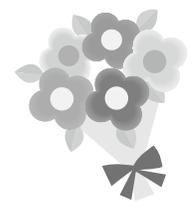
ねこのこね

(猫の子ね)

出題・五十川 陽菜 (損斐部)

その時の新聞記事や写真を見ると、不安や恐ろしさが蘇ってきます。それは現実の出来事を見ていたからより鮮明であり、映像だけでは今になって思い出されるようなこともなかったのではないかと思えます。

「本物に触れる」って貴重なことだと、夏の体験から痛感しています。これからは生きる子どもたちは、居ながらにして様々な情報を手に入れられるようになるでしょう。だからこそ一層、掌の機器から目を上げ、本物に触れ、五感で感じ考え、心が揺さぶられる体験が必要だと思えます。そしてその感動を掌の中から仲間へ発信し、感動の輪を広げていってほしいでしょう。



日々の何気ない「出会い」に願いを込めて

岐阜市立梅林中学校

教諭 村木崇

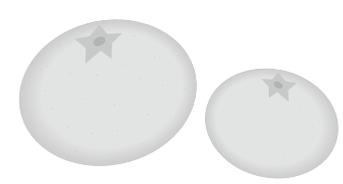
私たちは日々様々な「出会い」の中で生活しています。その人の人生に大きな影響を与える出会いもあれば、何気ない生活の中で心揺さぶられる出会いもあります。学校で子どもたちに関わることは、教育という現場における出会いの連続だといえます。朝の玄関で登校してくる子どもたちを迎えるとき、笑顔のさわやかな挨拶に「今日も一日頑張るぞ」という決意を感じる瞬間があります。ほんの一瞬に交わす挨拶かもしれませんが、素敵な笑顔の出会いがここにあります。廊下で談笑する子どもたちが、「こんにちは」と挨拶してくれる瞬間。相手の存在を認め、豊かな心を挨拶に表現し、伝えている姿との出会いに触れるたびに、こちらも笑顔になります。私たちは教師なので、授業にお

いて、教材との出会いを子どもたちにどう提供し、学ぶ醍醐味を演出していくか。教材研究を通して、子どもたちの知的好奇心を揺さぶる出会いを考えていきます。また、学校行事を通して、仲間と共に一体感を持ち、取り組む活動の中で、仲間の思いを知り、自分をみつめ、よりよい姿をつくるうとします。ここにも仲間の思いとの出会いや自分自身の内面との出会いがあります。

このように、子どもたちは日々、様々な出会いの中で、自分をみつめ、成長していくのだと思えます。同じように、家庭においても子どもたちの成長に結ばれる出会いがぎつとあります。朝起きてきたわが子とどんな出会いで一日をスタートできるでしょうか。眠そな表情から昨晩遅くまで勉強に取り組んでいたその頑張りを感じ、「遅くまで大変だったね。」と労いの言葉をかけてみる。返事が返ってこなくても、笑顔でわが子を見守り、おらかな気持ちで、

朝のわが子との出会いの瞬間を意味あるものにしてみる。このように日々の何気ない出会いを大切に、エールを送り続けようとする私たち大人の温かい関わりは、子どもたちの心に響いていくのではないのでしょうか。

「To keep on smiling」笑顔であり続けるために、これは梅林中学校の教育活動のテーマです。ここには、笑顔になれた出会いを通して自らの生き方をよりよく切り開いていこうという願いが込められています。



先生！ありがとうございます！

保護者から先生へ贈る感謝の四〇〇字メッセージ

校長先生、ありがとうございます。

「校長先生は笛を持っていないのに、笛の音が出せるんだよ。」

入学したばかりの息子が、嬉しそうに話してくれました。どうやら笛の音は、校長先生が登下校の見守りの時に持っていた「安全旗」から出ているようでした。息子は、校長先生が見守りに来てくれるのをとても楽しみにしていました。

暴風警報が解除されたばかりの時や、冬の寒い朝にもかかわらず、校長先生はいろんな場所に立ち、子どもたちを見守ってくださっています。冬の寒い朝などはまだ薄暗い中、自宅を出て学校に向かわれているのではないのでしょうか。頭が下がる思いです。

子どもたちから「校長先生と一緒にこんなことをしたよ。」という話をよく聞きます。子どもとの時間を大切にしてくださっているんですね。本当に感謝でいっぱいです。

これからも、どうぞよろしくお願ひ致します。

大島 由美子

《メッセージ随時受付中》

私たちは「言葉」でつながっています。PTAと学校、保護者と先生の信頼関係を深くし、子どもたちを健全に育てるために、先生に感謝のメッセージを贈ります。この気持ちは子どもに伝わり、やがて子どもたちも同様の気持ちを持ってくれると信じます。400字以内のメッセージ(書式自由・ハガキも可)に住所、氏名をご記入のうえ、「末尾に氏名又はペンネーム又は匿名希望」で右記へお送りください。

〒500-8824  
岐阜市北八ツ寺町7岐阜県校長会館内  
岐阜県PTA連合会「わが子のあゆみ」編集部  
[400字メッセージ係]  
FAX 058(262)3259  
Eメール info@g-pta.com



岐阜県学校栄養士会

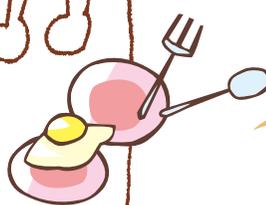
「里芋の白みそグラタン」は、白みその風味がよく、洋風にも和風にも合う料理です。

子どもたちの大好きなグラタンの具材に里芋が入ることで、ねっとりとしてボリュームのあるグラタンになります。里芋には、食物繊維や、塩分を体の外に排出するカリウムが多く含まれています。

ホワイトソースを作る手間もなく、米粉でとろみをつけるので、とても簡単にでき、ヘルシーです。牛乳の苦手な人は、豆乳で、また、少しコクを出したい人は、最初に炒める時にバターを使ってもおいしく出来上がります。

## 作り方

- 1 里芋は、皮をむき、輪切りにしてゆでる。
- 2 しめじは、小房に分ける。
- 3 ねぎは、斜め切り、たまねぎは、薄切りにする。
- 4 鶏肉は、1cmの角切りにする。
- 5 牛乳・米粉・白みそを溶き合わせておく。
- 6 フライパンに油を熱して、鶏肉を炒め、火が通ったらたまねぎを加えて炒める。
- 7 しめじとねぎを加えて炒め、①を加える。
- 8 ⑥に⑤を少しずつ加えてときのばし、とろみがつくまで弱火で加熱する。
- 9 塩・こしょうを加えて味をととのえ、耐熱容器に入れて、チーズ、パン粉をのせて、オーブントースターで焼き色がつくまで焼く。



## 材料

(材料4人分)

- 里芋……………大1個 (80g)
- しめじ……………1/3パック (40g)
- ねぎ……………5cm (20g)
- たまねぎ……………1/4個 (50g)
- 鶏もも肉……………80g
- 牛乳……………1/2カップ
- 米粉……………大さじ1
- 白みそ……………大さじ1/2
- サラダ油……………大さじ1/2
- シュレッドチーズ……………20g
- パン粉……………少々
- 塩……………少々
- 黒こしょう……………少々



## ●栄養価(1人あたり)

エネルギー	128kcal
たんぱく質	6.6g
脂質	6.8g
カルシウム	77mg
鉄	0.4mg
亜鉛	0.8mg
ビタミンA (レチノール活性当量)	26μg
ビタミンB1	0.05mg
ビタミンB2	0.14mg
ビタミンC	4mg
食物繊維	1.3g
塩分相当量	0.2g



# 親子ではてな



**Q1** 七五三の必需品とされている飴の名前は次のうちどれでしょう。

- ア 千歳飴 (ちとせあめ)
- イ 黒糖飴 (こくとうあめ)
- ウ 熨斗飴 (のしあめ)
- エ 鼈甲飴 (べっこうあめ)



**Q2** 1970年11月21日に名古屋市校外に日本第1号店がオープンした飲食チェーン店は次のうちどれでしょう。

- ア ミスタードーナツ
- イ ケンタッキーフライドチキン
- ウ スターバックス
- エ マクドナルド



## 応募方法

応募者は、はがきで、11月末までに下記の宛先へお送りください。  
(1人1枚・当日消印有効)  
※クイズの答えは1問だけでもOKです。

**宛先** 〒500-8824  
岐阜市北八ツ寺町7  
岐阜県校長会館内  
岐阜県PTA事務局  
「わが子のあゆみ編集部」

なお、応募はがきには「わが子のあゆみ」への感想・意見やなぞなぞの問題と答え、逆さ言葉などを記入してください。

## ●11月号クイズの答え

●郵便番号・住所  
学校・学年・氏名  
保護者名

●「わが子のあゆみ」  
への感想・意見

●「なぞなぞ」の  
問題と答え

●逆さ言葉

## 9月号クイズ答え

Q1 (イ) Q2 (ア)

## 9月号のクイズ当選者

赤堀れいき (岐阜市) 池田 涼菜 (大垣市)  
松尾依奏良 (岐阜市) 勝 有明果 (不破郡)  
市川 彰人 (岐阜市) 柳瀬 綺音 (不破郡)  
金森 愛苗 (岐阜市) 五十川陽菜 (揖斐郡)  
木村 恵美 (各務原市) 鈴木 麻友 (郡上市)  
伊藤 慎介 (山県市) 三宅 晴 (美濃加茂市)  
遠藤 凌介 (山県市) 加藤 咲弥 (中津川市)  
竹田隆之介 (本巣市)

## なぞなぞの答え

- ① たまご
- ② 信号機

本校は、恵那市の北部に位置し、児童数八十名のへき地小規模校です。四方を笠置山や権現山といった山々に囲まれ、地域の中央を中野方川が流れる豊かな自然環境に恵まれています。

本地区には、「日本の棚田百選」にも認定された石積み美しい『坂折棚田』が扇状に広がっています。この棚田は、約四〇〇年前に名古屋城の石積みにも携わった「黒鉄（くろくわ）」と呼ばれる石職人の集団によって作られたといわれています。

本校のふるさと学習では、「中野方を誇りに思い、中野方で生きる子」の育成を目指して、各学年の活動に取り組みんでいます。棚田での米づくりは、五・六年生で行っています。棚田に関わる一年間を紹介します。

《五月》

五月には、棚田保存会の方々のご協力を得て、田植えを行います。水を張った田の中に入り、二、三本の苗を取り分けながら、手で丁寧に植えていきます。また、棚田の米が美味しい理由についても、寒暖の差があり、坂折川上流部からのきれいな水が豊富にあること、米づくりに多くの手間をかけていること、そして、石積みの修理等も丁寧に行っていることを教えていただきます。

この後、五年生は、棚田へ水を供給する坂折川の水源となる森を探索します。児童たちは、水源を探す中で希少な植物が生育する湿地と出会い、この湿地を守っているのは、管理された森であることを学びます。

《六月》

六月の初旬に、地域の行事として、無事に田植えが終わったことを感謝する「田の神様灯祭り」が開かれます。日

が暮れるにしたがって、灯りに縁取られた棚田が幻想的な世界に誘います。児童たちも点灯式や提灯行列に参加しています。

また、下旬には、草取りを行います。手で草取りをするだけではなく、昔、使っていた「八反ずり」という道具を使い、先人の知恵と苦勞を感じながら取り組みます。

《九月》

九月中旬〜下旬頃、待ちに待った稲刈りを行います。児童たちは、豊かな実りと与えた自然へ感謝しつつ、稲を一株ずつ手で刈り取ります。その後、機械で脱穀をします。また、落ちた穂も大切に拾い集めます。

《十月》

十月下旬には、中野方小秋祭りが開かれます。これは、ふるさと学習でお世話になっている方々や地域の方々をお招きして、今までの活動の中間報告会と感謝の会です。そこで、棚田米と三年生が育てた大豆から作った味噌を使って、ご飯と豚汁を味わいます。

こうした学習の中で、児童一人ひとりが、今も大切に守っている方々の思いを知り、地域の一員として、ふるさとの誇りを受け継いでほしいと願っています。



▲お世話になった地域の方々と共に棚田米を味わう中野方小秋祭り



田の神様灯祭り▶



▲水源の森を探索し、森の仕組みについて知る



▲草取りをする児童



▲棚田保存会の方からお話を聞く



▲稲刈りをする児童



▶八反ずりを使って草取りをする児童



▲田植えをする児童

ふるさとの誇り 坂折棚田に学ぶ



南小学校は二四年の歴史をもつ学校で、温かい雰囲気のある小屋組の木造校舎が自慢です。江戸時代の面影を残す古い町並や、高山陣屋など歴史的建造物など伝統が息づく地域に見守られ、三八八名の児童が生き生きと学校生活を送っています。

今年度は「育もう思いやりの心、咲かせよう笑顔の花」を育友会スローガンに掲げ、家庭と学校が力を合わせて、学校の教育目標「あたたかい心の花をさかせ、自分づくりをすすめる子」に向けて取り組みを進めています。



「心と心の架け橋になるあいさつを、学校・地域に広げ、笑顔の花を咲かせよう。」そんな願いのもと、委員会の児童を中心に朝のハイタッチあいさつ運動が続いています。そこに毎月一日と十五日、校区の中学生も加わって玄関で一緒にあいさつ運動をしています。また、毎月一度、育友会役員の皆さんも、玄関に立つてあいさつ運動をしてください。南小学校の朝は、きらりと光る元気なあいさつから始まります。

## 広がるあいさつの輪



ありがとう集会

## ありがとう集会

ありがとう集会は、毎年二月、一年間お世話になった地域の方に感謝の気持ちを伝える集会です。歌やメッセージでありがとうの気持ちを伝える準備をする中で、子どもたちは自分たちの学校生活がたくさんの人に支えられていることを改めて実感します。あたたかい心がきらりと光る活動になっています。

## ほかほか班活動

ほかほか班活動は、「全校のみんなでもっと仲間の輪を広げたい。」という子どもたちの願いのもと始まった縦割り活動です。毎週金曜日の遊びの他、「ほかほかランチ」「校内オリエンテーリング」「ほかほか集会」など、みんなが仲良く楽しく活動できるように六年生が中心となって工夫しています。きらり笑顔が溢れる活動です。



ほかほかタイム



### 男子卓球部



「楽しいからこそスポーツ」

僕たちは、今、3年の先輩たちが惜しくも達成できなかった県大会出場に向けて日々練習中です。卓球部の良いところはいつも楽しく卓球をしている姿です。僕たちは楽しいからこそスポーツだと思っているので、この姿はこれからも続けていきたいです。また、競争心を高めるため、年に何度か部活内での総当たり戦なども実施しています。このようなことをさせていただき先生やコーチに感謝し、県大会に出場できるように頑張ります。

### 女子卓球部



「仲間同士で高め合い」

私たち女子卓球部は、2年生3人、1年生3人の計6人で活動しています。人数は少ないですが、全員が楽しめるように活動を行っています。練習では主にラリーや試合形式に取り組んでいます。学年を混ぜながらいろいろな仲間とできるようにしています。基礎練習をする中で、みんなでアドバイスを出し合って、少しでもうまくなれるように頑張っています。これからも基礎練習や体力づくりからしっかり取り組んで、仲間同士で高め合っていきます。

### 男子テニス部



「伝統の継承」

僕たち男子テニス部は、1年生2人で頑張っています。テニス部の目標は個人戦で県大会に出場することで、そのために日々努力しています。2年生の先輩がいないので、教えてもらうことができないけど、3年生に教えてもらったことを生かし、これからの練習の一球一球を大切に練習していきたいです。これからは先輩たちが残してきた西陵男子テニス部の名に恥じないよう頑張りたいです。

### 女子テニス部



「明るいチームづくり」

私たち女子テニス部は、1年生12人、2年生5人、計17人で活動しています。私たちは「団体戦県大会出場」を目標に、日々練習をしています。主に基本練習をし、技術を高めています。練習では「声を途切れさせない」「時間行動」「アドバイスをし合う」などのことを大切にしています。試合ではベアの気持ちやプレーがそろようになっています。また、大きな声であいさつするなど、明るいチームを目指して頑張っていきたいと思っています。

### 男子バスケット部



「楽しみかつ真剣に」

僕たち男子バスケット部は、1年生5人、2年生10人で活動しています。僕たちは日々の練習で1対1やシュート練習、最後にはゲームをして、一人ひとりがプレーの精度を上げるべき所を見つけ、それをよりよくするために声をしっかりと出すことを意識しながら取り組んでいます。自分たちの良さは、みんなが練習に楽しんでくれること、自分たちが練習に楽しんでいること、声が出ていること、走り切ることができなったり、改善すべきところもあります。これからもまずは、中体連東濃大会出場を目指してがんばります。

### 女子バスケット部



「笑顔」

私たち女子バスケット部は、1年生4人、2年生9人の合計13人で活動しています。少ない人数ですが、「県大会出場」を目指して日々練習しています。私たちは初心者が多く、強いチームではありませんが、練習で「笑顔」「声」「素早く行動」の三つを大切にしています。どんなに辛くても辛い顔を見せず、笑顔でやり、辛いからこそ声を出してやっています。また、集合などに早く行動すれば、その分たくさん練習ができるので、意識しながら行動しています。

### ソフトボール部



「目標に向かって」

私たちソフトボール部は、2年生7人、1年生4人の計11人で、「全国大会出場」という目標に向かって日々練習をしています。私たちは「礼儀正しく行動する」「一人ひとりが声を出す」ことを大切にしています。練習ではプレーの中で気づいたことを話し合い、自分たちで技術やチームとしての力も高めています。今の私たちの力では目標を達成するのは難しいですが、これからはもっとみんなで話し合って、高め合って、目標に向かって頑張ります。

### 野球部



「野球も礼儀も」

僕たち野球部は2年生3人で活動しています。人数はとても少ないですが、今の先輩は濃南中と合同で中体連に出ました。僕たちは他の学校と力を合わせてということになります。僕たちはやれることを毎日やって、中体連で勝てるように頑張っていきたいと思っています。そして野球だけでなく、礼儀も学んで、目標である、市優勝、東濃ベスト8を目指して頑張っていきたいです。

### 剣道部



「協力することの大切さ」

私たち剣道部は、2年生4人で活動しています。目標は全員で東濃大会に出場することです。私たちはそのために、毎日の部活で、時間厳守をする、精一杯練習に取り組む、あいさつを毎日するという当たり前のことを意識しています。部活動は素振りやランニングをして、基礎と体力を高めています。段級審査が近い部員に対して、皆が練習相手になって、手厚くサポートしているので、合格率がとても高いです。みんな良い結果を残すために、協力を怠らないように頑張ります。

### 美術部



「一生懸命」

私たち美術部は、好きな絵を描いたり、物を作ったりと自由に活動できる部活です。先輩、後輩関係なく、全員仲良しです。しかし、ただ好きに描いているのではなく、コンクールに絵を出したり、学校行事で使用する看板の制作などに取り組んだりしています。それぞれの個性を生かし、自分に合った分野を見つけ、一生懸命取り組み、上達させる。そんな部活動にしていきたいです。

### 陸上部



「自己ベストを目指して」

僕たち陸上部は、46人という多くの人数で活動しています。人数は周り比べて多めですが、練習は暑い中でもお互いに声をかけ合い、頑張ってきました。僕たちの目標は、顧問の先生や先輩に教わったことを自分のものにし、それを大会で生かし、「自己ベスト」を出すことです。練習する以前に、部活動をさせてくださる保護者や、練習メニューを考えてくださっている先生方への感謝の気持ちを忘れず、全力で取り組んでいきたいと思っています。

### 女子バレー部



「大切なチームワーク」

私たち女子バレー部は、2年生7人、1年生4人の計11人で活動しています。「市大会優勝」「東濃大会出場」を目標に、日々練習に励んでいます。僕たちが普段大切にしていることは、先輩と後輩の距離感です。もちろん声を出すことも必要だと思います。ですが、楽しくプレーをしたり、練習をしたりする中で、大切なのは仲間の関係だと考えています。直してもらいたい部分は正直に言って、改善していく事で、良い関係を築けます。目標が達成できるようにがんばっていききたいです。

### 吹奏楽部



「仲間の音」

私たち吹奏楽部は、「県大会出場」を目標として、日々の練習に励んでいます。吹奏楽部は、先輩と後輩との仲がよく、雰囲気が良いです。また、日ごろの練習から、部員や先生とすれ違った時の挨拶や返事、時間前行動に力を入れてがんばっています。練習時間が少ないですが、その中で効率よく考えながら練習しています。吹奏楽部の課題は、自分の音だけでなく、仲間の音を聴いて音色を合わせていくことです。仲間の音を聴き合い、素晴らしい演奏を目指して、これからも頑張ります。

### サッカー部



「全員で楽しむサッカー」

僕たちサッカー部は2年生7人、1年生10人で活動しています。部活の目標は、「サッカーを全員で楽しむ」です。僕たちは、部員がそれぞれ違うクラブに入っているため、一緒に試合ができません。そのため僕たちが今頑張っていることは、全員でサッカーをする意識を大切にすることです。これから努力していきたいことは、一人ひとりの技術力のアップです。それぞれのチームで良さを生かせるようにしていきたいです。

# 私たちのPTA

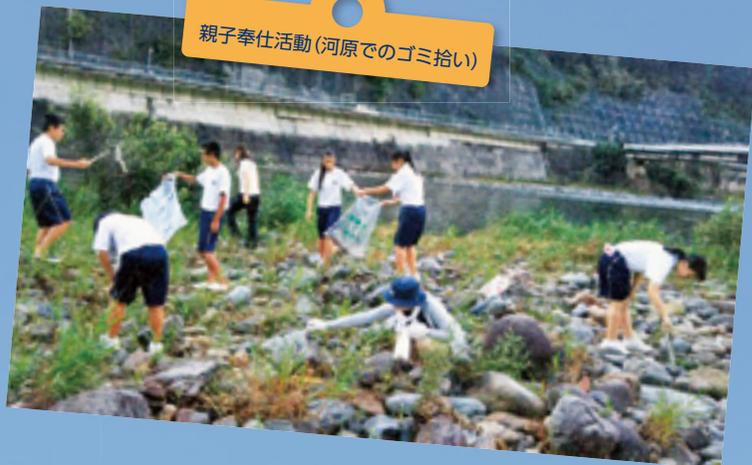
校舎(南舎 グラウンドからの撮影)



北舎と時計台(体育館から撮影)



時計台



親子奉仕活動(河原でのゴミ拾い)



親子奉仕活動(駅周辺の清掃)



教育講演会



リサイクルバザー

ノーマディアデー取組カード

第1期 ノーマディアデーにチャレンジ!  
 ( )年( )組( )番 氏名( )

項目	内容
A	朝から晩までノーマディアデーです。
B	学校生活の中でノーマディアデーを意識して行動します。
C	ノーマディアデーの大切さを友達に伝えます。
D	家庭でもノーマディアデーを実践します。
E	地域社会でもノーマディアデーを推進します。
F	ノーマディアデーを継続して実践します。

私の取り組むこととは \_\_\_\_\_ です。

PTA活動の感想(任意) \_\_\_\_\_

## 学校紹介

美濃中学校は、長良川や緑濃い山々など豊かな自然と一三〇〇年の伝統を誇る「美濃和紙」、中心市街地には、江戸時代から明治・大正時代の歴史的建造物が建ち並ぶ「うだつの上がる町並み」がある伝統文化が息づくまちにあります。

学校の教育目標は「自学自治」です。生徒数は、三九名で、「合唱・掃除・挨拶・授業」の四つを柱とし、「自分から関わる」をキーワードにして、日常を大切にしたい生徒会活動が行われています。

## PTA活動

美濃中学校のPTA本部役員は、会長、副会長、書記、会計、監査で構成されており、本部役員がそれぞれの委員会を担当することで、各種行事や活動をしっかり運営できる組織になっています。また、平成九年度に設立され、今年度で二十二年目を迎える「美濃中子育てネットワーク」という組織による活動も継続しています。

### 美濃中子育てネットワーク

美濃中学校PTA各役員及びすべての会員と、連合自治会長、補導センター委員長、青少年推進委員長、主任児童委員、商工会議所代表、まごころの会代表で構成しています。この組織がより機能するように、町内別に班を構成し、具体的な活動を推進します。家庭、学校、地域社会の広いネットワークの中で、子どもの自己実現を図ることを目指しています。

### 親子奉仕活動

夏休み期間中、各地域で親子奉仕活動を行います。公共の施設や場所、道路や川などの身の回りの環境などで協力して活動できました。

境など、誰もが気持ちよく利用したい場所を清掃しました。私たちの町がきれいで、快適になるように、親子で協力して活動できました。

### PTA教育講演会

毎年、PTA教育講演会を開催しています。夢に挑戦することの素晴らしさや困難なことにも立ち向かい乗り越えていく強さなどに関わって、講師の方に講演してもらい親子で聴いています。子どもたちが心身共に健全で、自己実現に向けてたくましく育っていきつかけになることを願って、教育講演会を企画・運営しています。

### リサイクルバザー

PTA文化活動委員会によるリサイクルバザーを開催しています。バザーの品物は、制服やジャージ、体操服など、資源回収の際に、校区内の家庭から集めた物です。成長期の子どものための制服や体操服をリサイクルすることによって、経済面や資源の有効活用面でとても有益な活動であると思います。

### ノーマディアデー

メディアに長時間触れることによって、睡眠不足、遅い就寝時間による生活の乱れ、学習意欲の低下、コミュニケーション能力の低下などが問題になっていきます。そこで、PTAでは、期末テストの取組期間に合わせてノーマディアデーの取組を企画し実施しています。家族で話し合い、六つの取組コースから一つを選択してチャレンジします。子どもたち個々の実態に合わせて、取り組みやすくなるように工夫しました。

がんばる子らの

# 汗と笑顔と眼差しと

羽島市立羽島中学校



## 仲間との 学び合い

学習の定着や深まりがある授業を目指して、小集団交流を積極的に位置付けています。



「自分たちにできることは何だろう」と考え、タオルに思いを込めて送りました。

## 西日本 豪雨被災地支援



## PTA奉仕活動

夏休みのPTA奉仕活動は、伝統行事として長く続いています。保護者の方々に感謝！



## 掃除の達人

黙々と取り組む清掃活動は、三本柱のひとつです。達人が増えてきました。



地域の夏祭りや町民運動会などに積極的に参加し、地域社会人として貢献しています。

## 地域 ボランティア



東海大会・全国大会にも出場する部活動が多いのは、本校の特色です。

## 中体連大会